

オペレーターズ マニュアル

Front Engine Lawn Tractor

MTD乗用芝刈機 A4KS

13AFA4KS333

製品情報の記録

新しい機器をセットアップして操作する前にシートを持ち上げて、機器のモデルプレートに記入してあるモデルナンバーとシリアルナンバーを右側に記入してください。この情報はご購入いただいた販売店で修理を受ける場合などに必要となります。

モデルナンバー

シリアルナンバー



警告

この機械を操作する前に、このマニュアルのすべての安全規則と指示を読み、それに従ってください。これらの指示に従わないと、怪我をする可能性があります-これらの指示を保存してください。



警告

CALIFORNIA PROPOSITION 65

エンジンの排気ガス、その構成要素の一部、および特定の車両コンポーネントには、カリフォルニア州で癌や先天性欠損症、またはその他の生殖障害を引き起こすことが知られている化学物質が含まれている、または放出されています。

注: このオペレーターズマニュアルは、いくつかのモデルを対象としています。機能はモデルによって異なる場合があります。このマニュアルのすべての機能がすべてのモデルに適用できるわけではなく、示されているモデルは実際のモデルとは異なる場合があります。

Form No. 769-25738A
(September 4, 2020)

安全な操作方法

警告



この記号は、従わない場合、個人を危険にさらす可能性のある重要な安全指示を示しています。使用する前にこのマニュアルのすべての指示を読み、それに従ってください。これらの指示に従わないと、怪我をする可能性があります。この記号が表示されたら、警告に注意してください。

危険

この機械は、このマニュアルの安全な操作方法に従って操作するように設計されています。オペレーターの不注意やエラーは重傷を負う可能性があります。この機械は、指、手、つま先、足を切断し、破片を放出することがあります。次の安全指示に従わないと、重傷を負ったり死亡する可能性があります。

一般的な操作

1. 組み立てと操作を試みる前に、トラクターとマニュアルのすべての指示を読み、理解し、それに従ってください。このマニュアルは、将来の定期的な参照や交換部品の注文のために安全な場所に保管してください。
2. すべてのコントロールとその適切な操作に精通してください。トラクターを停止し、すばやく解除する方法を理解してください。
3. 14歳未満の子供にこのトラクターの操作をさせないでください。14歳以上の子供は、このマニュアルとトラクターの指示と安全な操作方法を読んで理解し、大人が訓練および監督する必要があります。
4. 大人が適切な指示なしにこのトラクターを操作することを決して許可しないでください。
5. このマニュアルに記載されていない状況が発生した場合は、注意して適切な判断を行ってください。販売店の担当者に連絡して支援を求めてください。
6. 米国消費者製品安全委員会 (CPSC) および米国環境保護庁 (EPA) によると、この製品の推定耐用年数は、通常の使用条件下で7年です。耐用年数の終わりに、すべての機械的および安全システムが適切に、安全に動作し、過度に摩耗していないことを確認するために、製品を毎年検査してください。これを怠ると、事故、負傷、または死亡につながる可能性があります。

操作前の準備

1. トラクターを使用する場所を徹底的に点検してください。ブレードによって放出される可能性のあるすべての石、棒、ワイヤー、骨、おもちゃ、およびその他の異物を取り除きます。放出された物は重大な人身傷害を引き起こす可能性があります。
2. ブレードの接触や放出された物体の怪我を防ぐために、トラクターの運転中は、ヘルパーをトラクターから少なくとも75フィート (23メートル) 離してください。操作中は、傍観者、子供、ペットをそのエリアに入れないでください。誰かがそのエリアに入ったらトラクターを止めてください。
3. トラクターの排出方向に注意し、人がいる方向へ排出方向を向けしないでください。

4. 目を保護するために、操作中および調整または修理を行うときは、常に安全メガネまたは安全ゴーグルを着用してください。跳ね返る物体を投げると、目に重傷を負う可能性があります。
5. 丈夫で荒い靴底の作業靴とびったりとしたスラックスとシャツを着用してください。ゆったりとした衣服、装身具、長い髪は可動部分に引っかかる可能性があります。このトラクターを素足やサンダルで操作しないでください。
6. 燃料タンクをいっぱいにしすぎないでください。燃料を膨張させるためのスペースを確保するために、タンクをフィルターネックの底から1/2インチ (13 mm) 以下まで充填します。
7. ガソリンキャップを元に戻し、しっかりと締めます。
8. トラクターの製造元によってこのトラクター用に承認された付属品と付属品のみを使用してください。承認されたアクセサリーまたはアタッチメントに付属のすべての指示を読み、理解し、それに従ってください。

操作前の準備

1. データによると、65歳以上のオペレーターは、トラクター関連の負傷者の大部分に関与しています。これらのオペレーターは、乗用トラクターを安全に操作するうえで、自分自身や他の人を重傷から守るのに十分な能力がある評価する必要があります。
2. トラクターを始動する前に、パーキングブレーキを設定してください。
3. 回転部品の近くやカッティングデッキの下に手や足を置かないでください。ブレードとの接触は手と足を切断する可能性があります。
4. 穴、わだち掘れ、でこぼこ、岩、またはその他の隠されたオブジェクトに注意してください。不整地はトラクターを転倒させる可能性があります。背の高い草は障害物を隠すことができます。
5. 道路、歩道、ヘルパーなどへの材料の排出を避けるために、芝刈りパターンを計画します。壁や障害物に材料を放出しないでください。放出された材料がオペレーターに向かって跳ね返る可能性があります。
6. ぶら下がっている木の枝、ワイヤー、ドアの開閉部などの下を運転する前に、頭上の隙間を注意深く確認してください。オペレーターがトラクターにぶつかったり引っ張られたりすると、重傷を負う可能性があります。

7. 走行中のトラクターを放置しないでください。取り外す前に、必ずブレードをオフにし、パーキングブレーキを設定し、エンジンを停止し、キーを取り外してください。
 8. ブレードを外し、パーキングブレーキを設定し、エンジンを停止し、ブレードが完全に停止するまで待ってから、グラスキャッチャーを取り外し、草を空にし、シュートの詰まりを取り除き、草や破片を取り除き、調整を行います。
 9. トラクターは、高さが10インチ（25 cm）以下の通常の住宅用の芝を刈るように設計されています。異常に背の高い乾いた草（牧草地など）や乾燥した葉のイルを刈り取ろうとしないでください。乾いた草や葉がエンジンの排気ガスに接触したり、トラクターのデッキに堆積したりして、火災の危険が生じる可能性があります。
 10. ゆっくりとバックアップします。後退事故を避けるために、後退する前と後退している間は常に下と後ろを見下ろしてください。
 11. 乗客を絶対に運ばないでください。
 12. 溝、堤防、または水の端から少なくとも10フィート（3メートル）離れてください。車輪が崖や溝の端を越えている場合、または端が陥没している場合、トラクターが突然ひっくり返る可能性があります。
 13. シュートデフレクターがないか損傷していると、ブレードが接触したり、物を投げたりする可能性があります。
 14. シュートデフレクターまたはグラスキャッチャーを適切な場所に配置せずにトラクターを操作しないでください。
 15. グラスキャッチャーまたはその他のアタッチメントには特に注意してください。これらはトラクターの安定性を変える可能性があります。常にアタッチメントの製造元の指示に従ってください。
 16. 砂利道、散歩道、道路を横断するとき、および芝を刈っていないときは、ブレードを停止します。
 17. 道路の近くまたは交差点で運転するときは、交通に注意してください。このトラクターは、公道での使用を目的としたものではありません。
 18. 昼間や明るい人工の光があるときのみ刈ります。
 19. アルコールや薬物の影響下でトラクターを操作しないでください。
 20. 曲がる前に減速します。トラクターをスムーズに操作してください。不規則な操作や過度の速度は避けてください。
 21. マフラーとエンジンは非常に熱くなり、重度の火傷を負う可能性があります。手を触れないでください。サービスを試みる前に、トラクターを5分間冷ましてください。
 22. 屋内や換気の悪い場所でエンジンを運転しないでください。エンジンの排気ガスには、一酸化炭素、無臭、致命的なガスが含まれています。
3. 刃を止めている状態でも、子供を乗せないでください。落下して重傷を負ったり、トラクターの安全な操作を妨げる可能性があります。過去に乗り物を与えられた子供たちは、突然別の乗り物のために芝刈りエリアに現れ、トラクターにひかれたり、後ろに倒れたりする可能性があります。
 4. 子供や傍観者がエリアに入った場合は注意してトラクターを止めてエンジンを切ってください。
 5. 転倒事故を防ぐため、常に後ろを見下ろしてください。
 6. トラクターの進路にある、死角、出入り口、低木、樹木、またはその他の物体に近づくときは、細心の注意を払ってください。
 7. 14歳未満の子供にこのトラクターの操作を許可しないでください。14歳以上の子供は、このマニュアルとトラクターの指示と安全な操作方法を読んで理解し、大人が訓練および監督する必要があります。
 8. 子供がトラクターに乗って喜ぶことを許可しないでください。トラクターはおもちゃでもゴーカートでもありません。トラクターは危険である可能性があり、常にトラクターに近づかないようにする必要があります。子供に警告してください。
 9. 子供を熱いエンジンや実行中のエンジンから遠ざけてください。熱くなったマフラーで火傷を負う可能性があります。
 10. トラクターが無人の場合は、不正操作を防ぐためにキーを取り外してください。小さな子供が鍵にアクセスできないことを確認してください。

スロープでの操作

1. 斜面は、重傷や死亡につながる可能性のある制御不能や転倒事故に関連する主要な要因です。すべての斜面には特別な注意が必要です。坂を上ることができない場合や不安を感じる場合は、刈らないでください。
2. 安全のため、傾斜地でトラクターを使用する前に傾斜を測定してください。このマニュアルの一部に含まれているスロープゲージに加えて、スロープ測定装置を使用して、このトラクターを傾斜または丘陵地帯で操作する前にスロープを測定します。スマートフォンのアプリケーションを利用して、傾斜を測定することもできます。スロープゲージまたはスロープ測定装置に示されているように、スロープが15°（25%）を超える場合は、その領域でこのトラクターを操作しないでください。重傷を負う可能性があります。
3. 15°（25%）を超える斜面では刈らないでください。
4. 斜面を横切って刈るのではなく、15°（25%）未満の上り坂と下り坂のみを刈り取ります。低速を使用し、急カーブを避けてください。
5. 濡れた草を刈らないでください。トラクションが低下すると、スライドしたり、コントロールが失われたりする可能性があります。
6. トラクション、ステアリング、または安定性が問題となる条件下でトラクターを操作しないでください。ホイールを止めてもタイヤが滑る可能性があります。
7. 斜面でのスタートとストップは避けてください。速度や方向を急に変更しないでください。ゆっくりと徐々に曲がります。

子供

1. オペレーターが子供の存在に注意を払わないと、悲劇的な事故が発生する可能性があります。子供たちはトラクターや芝刈りに興味があります。彼らは危険を理解していません。あなたが最後に見た場所に子供が残ると思込まないでください。
2. 操作中は傍観者、子供、ペットを芝刈りエリアの中に入れてください。誰かがそのエリアに入ったら、トラクターを止めてください。

8. グラスキャッチャーまたはその他のアタッチメントを使用してトラクターを操作するときは、特に注意してください。それらはトラクターの安定性に影響を与える可能性があります。10°（17%）を超える斜面ではグラスキャッチャーを使用しないでください。
9. 足を地面に置いてトラクターを安定させようとししないでください。
10. 斜面でのすべての動きをゆっくりと緩やかに保ちます。速度や方向を急に変えないでください。急激な加速により、トラクターの前部が持ち上げられ、後方に急速に転倒し、重傷を負ったり死亡する可能性があります。

火と燃料

1. 怪我や物的損害を避けるために、ガソリンの取り扱いには細心の注意を払ってください。ガソリンは非常に可燃性であり、蒸気は爆発性です。ガソリンが自分自身や衣服にこぼれて発火すると、重傷を負う可能性があります。肌を洗い、すぐに着替えてください。
2. すべてのタバコ、葉巻、パイプ、およびその他の発火源を消します。
3. 承認されたガソリン容器のみを使用してください。
4. エンジンが高温または運転中は、ガスキャップを外したり、燃料を追加したりしないでください。給油する前に、エンジンを少なくとも5分間冷ましてください。
5. 屋内でトラクターに燃料を供給しないでください。
6. トラクターや燃料容器は、給湯器、スペースヒーター、かまど、衣類乾燥機、その他のガス器具のように、直火、火花、または種火のある場所に保管しないでください。
7. ガソリンがこぼれた場合は、エンジンや機器から拭き取ってください。油や燃料のこぼれをきれいにし、燃料に浸した破片を取り除きます。トラクターを別の場所に移動します。エンジンを始動する前に5分待ちます。
8. 火災の危険を減らすために、トラクターに草、葉、またはその他の破片がたまらないようにしてください。
9. トラクターは、高さが10インチ（25 cm）以下の通常の住宅用芝を刈るように設計されています。異常に背の高い乾いた草（牧草地など）や乾いた葉の山を刈り取るうとしないでください。乾いた草や葉がエンジンの排気ガスに接触したり、トラクターのデッキに堆積したりして、火災の危険が生じる可能性があります。
10. 燃料タンクをいっぱいにしすぎないでください。燃料を膨張させるためのスペースを確保するために、タンクをフィルターネットの底から1/2インチ以下まで充填します。
11. ガソリンキャップを元に戻し、しっかりと締めます。燃料キャップを取り付けずに操作しないでください。
12. 燃料を補給または保管する前に、トラクターを少なくとも5分間冷ましてください。
13. 充填する前に、必ず車両から離れた地面に置いてください。

14. 実用的な場合は、ガスを動力源とする機器をトラックまたはトレーラーから取り外し、地上で燃料を補給します。これが不可能な場合は、ガソリンディスペンサーのノズルからではなく、ポータブルコンテナを備えたトレーラーでそのような機器に燃料を補給してください。
15. 給油が完了するまで、ノズルを燃料タンクの縁または容器の開口部に常に接触させてください。ノズルロックオープン装置は使用しないでください。

運搬

1. 輸送用のトラクターの積み下ろしには、適切に固定された全幅傾斜路を使用してください。
2. トラクターをトレーラーまたはトラックに積み降ろしするときは、特に注意してください。このトラクターは傾斜路を上下に運転しないでください。トラクターが転倒して、重傷を負う可能性があります。
3. 積載クリアランスのためにデッキを最も高い位置に上げます。

サービス

1. 良好な作業順序でマシンを保管してください。摩耗または損傷した部品を交換するまで、トラクターを使用しないでください。
2. 重傷や死亡事故を防ぐため、エンジンを改造しないでください。ガバナ設定を改ざんすると、エンジンが暴走し、安全でない速度で動作する可能性があります。エンジンガバナの工場設定を改ざんしないでください。エンジンガバナの設定を変更したり、エンジンの速度を上げすぎたりしないでください。ガバナは、エンジンの最大安全動作速度を制御します。
3. 整備を行う際は特に注意してください。
4. トラクターの油圧ポンプ、ホースまたはモーターおよび/またはディーゼル噴射システムには、圧力がかかった流体システムがあります。圧力下で漏れる液体は、皮膚に浸透して重傷を負うのに十分な力を持っている可能性があります。液体が皮膚に注入された場合は、直ちに医師の診察を受けてください。高圧下で液体を排出するピンホールやノズルに体と手を近づけないでください。漏れが発生した場合は、すぐに正規販売店にトラクターの修理を依頼してください。

5. 清掃、修理、または検査する前に、ブレードとすべての可動部品が停止していることを確認してください。意図しない始動を防ぐために、エンジンを切り、キーを取り外し、スパークプラグワイヤーを外し、エンジンに対して接地します。
6. このマニュアルの「サービスとメンテナンス」セクションの「メンテナンススケジュール」チャートに従って、ブレードの切り離し制御を解除してから5秒以内にブレードが完全に停止することを確認してください。ストップウォッチで停止時間を測定します。ブレードが5秒以内に完全に停止しない場合は、販売店に依頼してください。
7. このマニュアルの「サービスとメンテナンス」セクションの「メンテナンススケジュール」チャートに示されているスケジュールに従って、安全インターロックシステムが適切に機能しているかどうかを確認してください。安全インターロックシステムが適切に機能しない場合は、販売店に依頼してください。
8. 安全インターロックシステムやその他の安全装置を改ざんしないでください。定期的に適切な動作を確認してください。
9. このマニュアルのメンテナンススケジュールチャートに従って、ブレードとエンジン取り付けボルトのトルクを確認してください。また、ブレードに損傷（過度の摩耗、曲がり、ひび割れなど）がないか目視検査します。
10. 純正部品でないパーツを使用すると、パフォーマンスが低下し、安全性が損なわれる可能性があります。
11. すべてのナット、ボルト、ネジをしっかりと締めて、機器が安全に動作する状態にあることを確認してください。
12. 異物を衝突させた後、エンジンを停止し、スパークプラグワイヤーを外し、エンジンに対して接地します。トラクターに損傷がないか徹底的に検査します。起動して操作する前に、損傷を修復してください。
13. エンジンが作動している間は、トラクターの調整や修理を試みないでください。
14. グラスキャッチャーコンポーネントとシュートデフレクターは摩耗や損傷を受けやすく、可動部品が露出したり、物体が投げられたりする可能性があります。コンポーネントを頻繁にチェックし、損傷がある場合はすぐに純正部品と交換してください。
15. 必要に応じて、安全ラベルと指示ラベルを維持または交換します。
16. 環境を保護するために、ガス、オイルなどの適切な廃棄法および規制を遵守してください。

排出量に関する注意

SORE（小型オフロード機器）のカリフォルニアおよび連邦EPA排出規制に準拠することが認定されているエンジンは、通常の無鉛ガソリンで動作することが認定されており、次の排出制御システムが含まれる場合があります。エンジン改造（EM）およびスリーウェイ触媒（TWC） そのように装備されている場合。

必要に応じて、モデルには、蒸発排出制御用の低透過性燃料ラインと燃料タンクが装備されています。カリフォルニアのモデルには、カーボンキャニスターも含まれている場合があります。

スパークアレスター



警告

この芝刈り機には内燃エンジンが装備されており、エンジンの排気システムに該当する地域または州の法律（存在する場合）を満たすスパークアレスターが装備されていない限り、森林に覆われた、ブラシで覆われた、または草で覆われた未整備の土地またはその近くで使用しないでください。

スパークアレスターを使用する場合は、オペレータが効果的に機能するように維持する必要があります。カリフォルニア州では、上記は法律で義務付けられています（カリフォルニア公共資源法のセクション4442）。他の州にも同様の法律がある場合があります。連邦法は連邦の土地に適用されます。

スロープゲージ（裏表紙）



警告

斜面は、重傷や死亡につながる可能性のある転倒事故に関連する主要な要因です。すべての斜面には特別な注意が必要です。斜面に不安を感じる場合は、刈らないでください。15°（25%）を超える斜面では刈らないでください。斜面を横切って刈るのではなく、上り坂と下り坂だけを刈り取ります。



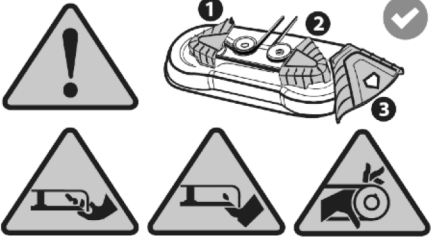
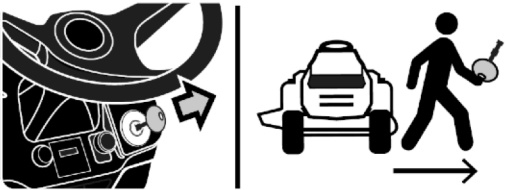
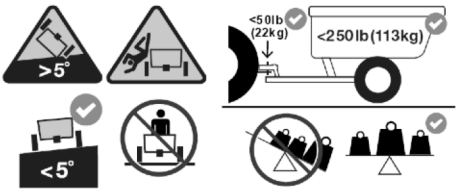
裏表紙のスロープゲージを使用して、スロープが安全な操作には急すぎるかどうかを判断してください。勾配を確認するには、次の手順に従います。。

1. マニュアルを裏表紙まで開き、破線に沿って折ります。。
2. 斜面の上または後ろに垂直なオブジェクトを配置します（例：ポール、建物、柵、木など）。
3. スロープゲージのいずれかの側をオブジェクトに合わせます。
4. 左隅が斜面に触れるまでゲージを上下に調整します。
5. ゲージの下に隙間がある場合は、傾斜が急すぎて安全に操作できません。

安全記号

このページでは、この製品に表示される安全記号について説明します。

シンボル	説明
 <p data-bbox="403 683 633 719">OPESymbol.com</p>	<p data-bbox="879 450 1308 501">警告- オペレーターズマニュアルをお読みください。</p> <p data-bbox="879 524 1292 723">このトラクターを操作する前に、マニュアルおよびトラクターのすべての安全規則と指示を読み、理解し、それに従ってください。この情報に従わないと、人身事故または死亡事故につながる可能性があります。このマニュアルは、将来および定期的に参照できるように安全な場所に保管してください。</p>
	<p data-bbox="879 936 1270 965">警告-投げられた物体による怪我を避ける</p> <p data-bbox="879 981 1302 1180">運転中は、ヘルパーを機械から少なくとも75フィート（23メートル）離してください。ブレードによって拾われて投げられる可能性のあるすべての石、棒、ワイヤー、骨、おもちゃ、およびその他の異物を取り除きます。排出カバーまたはグラスキャッチャー全体が適切な場所でない状態でトラクターを操作しないでください。</p>
	<p data-bbox="879 1285 1281 1337">警告- 子供の後退/暴走/ブレードの怪我を避ける</p> <p data-bbox="879 1357 1286 1482">転倒事故を防ぐため、小さなお子様は常に後ろを見下ろしてください。ブレードがオフになっている場合でも、子供を絶対に運ばないでください。誰かが作業エリアに入ったら、トラクターを止めてください。</p>
	<p data-bbox="879 1720 1219 1749">警告-転倒/転倒による怪我を避ける</p> <p data-bbox="879 1769 1292 1946">15°（25%）を超える傾斜で機械を操作しないでください。斜面を横切って刈るのではなく、15°（25%）未満の上り坂と下り坂のみを刈り取ります。低速を使用し、急な坂道の曲がり avoids。溝、堤防、または水の端から少なくとも10フィート（3メートル）離れてください。</p>

シンボル	説明
	<p>警告-火災を避ける</p> <p>トラクターは、高さが10インチ (25 cm) 以下の通常の住宅用芝を刈るように設計されています。異常に背の高い乾いた草 (牧草地など) や乾いた葉の山を刈り取ろうとしないでください。密閉されたガレージまたは物置小屋に燃料を補給または保管する前に、トラクターを少なくとも5分間冷ましてください。</p>
	<p>警告-切断による怪我を避ける</p> <p>カッティングデッキの近くや下に手や足を置かないでください。ブレードとの接触は手と足を切断する可能性があります。</p>
	<p>警告-切断による怪我を避ける</p> <p>回転部品の近くやカッティングデッキの下に手や足を置かないでください。ブレードとの接触は手と足を切断する可能性があります。すべての安全装置 (ガード、シールド、スイッチなど) が所定の位置にあり、機能していることを確認してください。ベルトおよび/またはブレードスピンドルの接触は、身体の一部を押しつぶしたり傷つけたりする可能性があります。</p>
	<p>警告-キーの取り外し</p> <p>取り外す前に、必ずブレードをオフにし、パーキングブレーキを設定し、エンジンを停止し、キーを取り外してください。トラクターを放置する場合は、子供や他の人による不正使用を防ぐために、必ずキーを取り外してください。</p>
	<p>警告-けん引関連の怪我を避ける</p> <p>250ポンド (113 kg) のローリング重量を超え、50ポンド (22 kg) のタンク重量を超えるものは牽引しないでください。けん引装置の中または上に子供や他の人を入れてください。5° (9%) を超える斜面をけん引しないでください。斜面では、牽引された機器の重量により、トラクションが失われたり、制御が失われたり、停止する能力が失われたりする可能性があります。ゆっくりと移動し、余分な距離を停止します。</p>

警告

あなたの責任—このパワーマシンの使用を、このマニュアルとマシンの警告と指示を読み、理解し、それに従う人に制限してください—これらの指示を保存してください！

組み立て

注: このオペレーターズマニュアルは、いくつかのモデルをカバーしています。トラクターの機能はモデルによって異なる場合があります。このマニュアルのすべての機能がすべてのトラクターモデルに適用できるわけではなく、描かれているトラクターは実際のトラクターとは異なる場合があります。

注: このマニュアルでトラクターの左側または右側、および前面または背面を参照している場合は、すべて操作位置からのみ参照してください。例外がある場合は、それが指定されます。

準備

トラクターを手動で動かす

1. トランスミッションバイパスロッドをかみ合わせて、トラクターを始動せずに手動で動かします。トランスミッションバイパスロッドは、トラクターの後部のフレームにあります。引き出してバイパスロッドをかみ合わせます。図1参照。

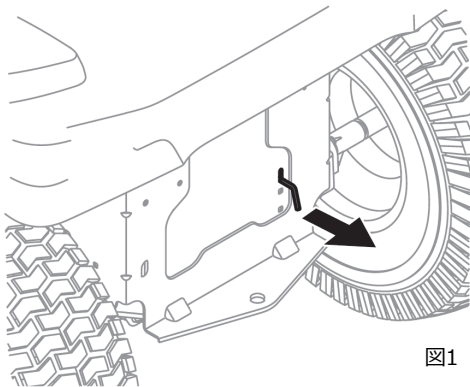


図1

注: トラクターが動かない、または押したときに自由に動かない場合は、油圧バイパスロッドが完全に開いているか、ブレーキがかかっているかを確認してください。

注: 油圧バイパスロッドを引き抜くと、トランスミッションは作動しません。トラクターを操作する前に、ロッドを解放位置に戻します。

2. トラクターを動かした後、ロッドを押し戻して、トランスミッションバイパスロッドを外します。図1を参照

オペレーターシートの取り付け (必要な場合)

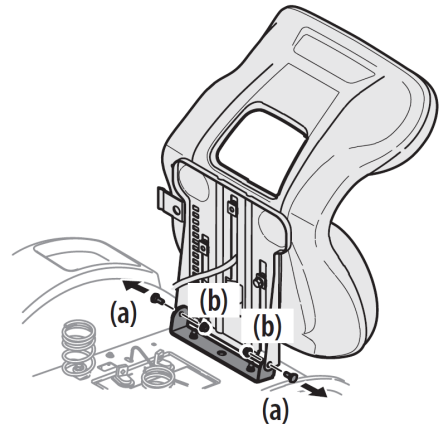
シートを取り付けるには、次の手順に従います。

注: シートはシートスイッチとシートパンが取り付けられた状態で出荷されます。

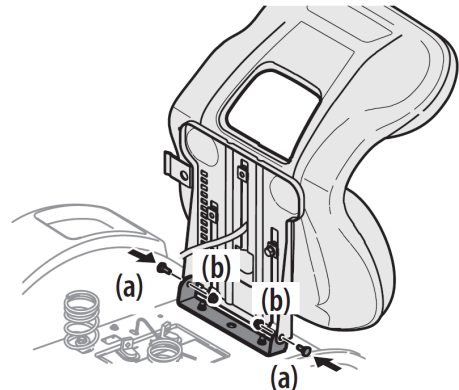
1. シートアセンブリをトラクターに固定しているストラップをすべて切断します。梱包材をすべて取り除きます。

注: シートとシートスイッチを接続するワイヤーハーネスを切断しないように注意してください。

2. 図2に示すように、シートパンの2つのショルダーボルト (a) とフランジロックナット (b) を取り外します。



3. シートを所定の位置に回転させ、プラスドライバーをシート固定穴の1つとシートブラケットに通して位置合わせします。
4. 以前に取り外したショルダーボルト (a) とフランジロックナット (b) を使用して、シートとシートブラケットの片側を固定します。シートを支えながら、プラスドライバーを取り外し、シートの反対側を固定します。シートを取り付ける際にワイヤーハーネスを圧着したり損傷したりしないように注意してください。図3を参照してください。84-103インチポンド (9.5-11.6 N-m) のトルク。



5. ハーネスに取り付けられたハーネスクリップを使用して、図4に示すように、ハーネスクリップを所定の位置にスナップして、フェンダーに余分なワイヤーを取り付けます。

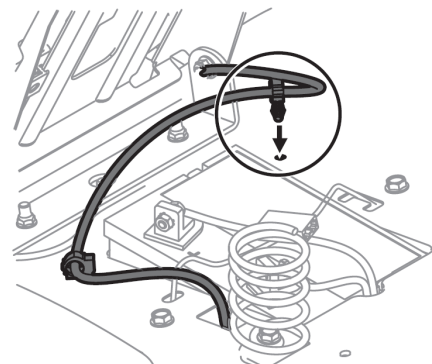


Figure 4

フードカラーの取り付け (必要な場合)

フードカラー (b) には3つの位置合わせポスト (a) があり、フード (d) の対応する位置合わせ穴 (c) と一列に並んでいます。図5参照。

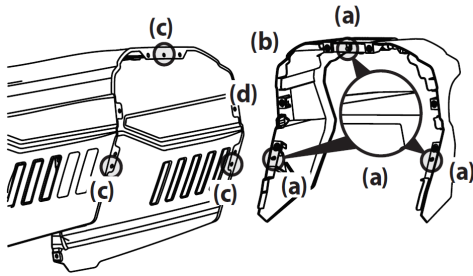


Figure 5

これらの位置合わせポイントを使用してフードカラー (a) を適切に配置し、ハードウェアバッグに付属の6本の六角ボルト (b) で所定の位置に固定します。六角ボルトを102~124インチポンド (11.5~14 N-m) で締めます。図6を参照。

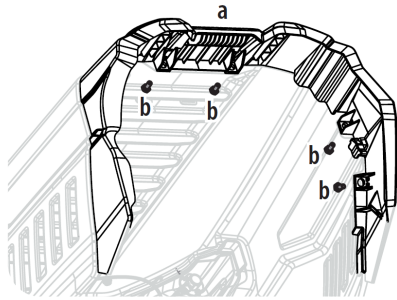


Figure 6

スナップオンフードトッパーの取り付け (必要な場合)

1. スナップオンフードトッパー (a) を取り付けるには、図7に示すように、フードトッパー (a) の穴をフードフレームのタブ (b) に合わせます。

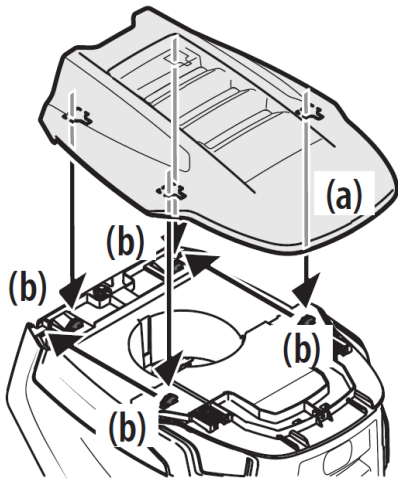
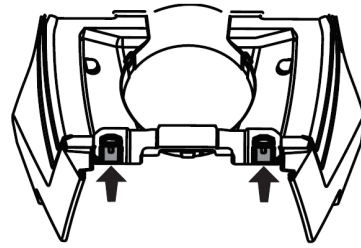


Figure 7

2. タブ (b) をフードトッパーに挿入し、引き戻して所定の位置にロックします。

3. フードトッパーを所定の位置に配置したら、フード後部近くの2つのロックタブを上を押して、フードトッパーを所定の位置にロックする必要があります。図8を参照



明確にするためにフードトッパーは表示されていません

スクリーオンフードトッパーの取り付け (必要ならば)

注: ねじ込み式フードトッパーを取り付けるときは、ヘッドライトハーネスを損傷しないように注意してください。

1. フードを開いた状態でフードトッパーをフードの上部に合わせ、フードの穴の位置を合わせます。
2. ねじ込み式フードトッパー (a) を下から固定し、フードの後半部分のねじ (b) を手で締めてから、ぴったりとはめ込みます。図9を参照。
3. 後部のネジを取り付けた状態で、フードトッパーの穴 (a) をフードの穴 (c) に合わせ、残りの2本のネジ (d) で固定します。図9を参照。

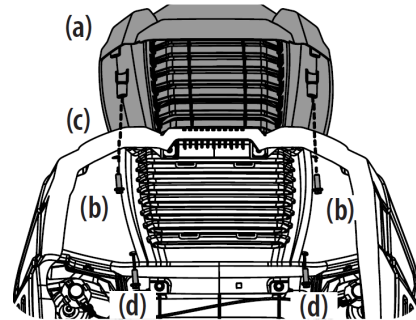


Figure 9

4. 4本のネジをすべて16~24インチポンド (1.8~2.7 N-m) で締めます。

プレナムの取り付け (必要な場合)

注: プレナムを取り付けるときは、ヘッドライトハーネスを損傷しないように注意してください。

プレナム (a) をフード (b) に取り付けるには:

1. 図10に示すように、背面タブ (c) を挿入します。

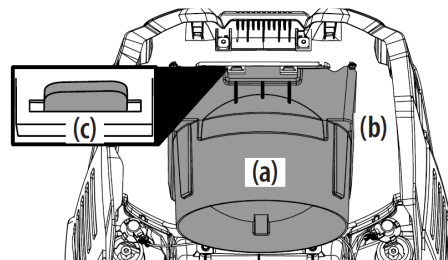


Figure 10

- リアタブを取り付けた状態で、図11に示すように、プレナム (b) にフロントタブ (a) を挿入します。

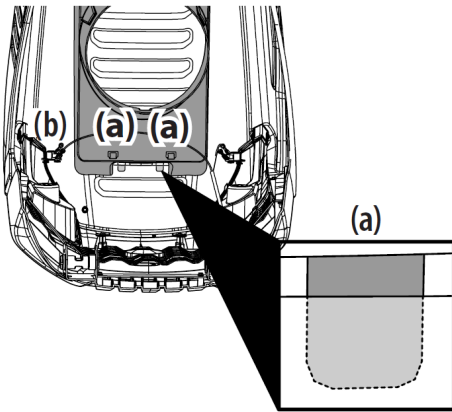


Figure 11

注：リアタブは、フード上部のくぼんだ部分に収まります。それらはボンネットの下からこれらのくぼんだ領域に滑り上がります。

- プレナムの底を押し上げて、プレナムがしっかりと固定されていることを確認します。
- ヘッドライトハーネス (a) をプレナム前面の2つのガイド (b) に固定します。図12参照。

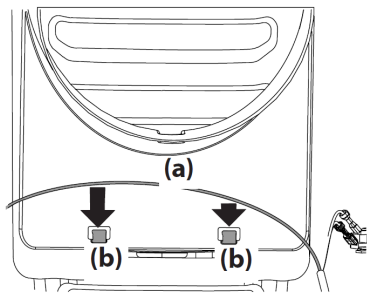


Figure 12

ダッシュキャップの取り付け (必要な場合)

ダッシュキャップ (a) を取り付けるには、図13に示すように、ダッシュキャップ (a) のタブ (b) を上部ダッシュの穴に合わせます。タブ (b) を上部ダッシュの穴にスライドさせ、ダッシュキャップを前方に押しして所定の位置にロックします。

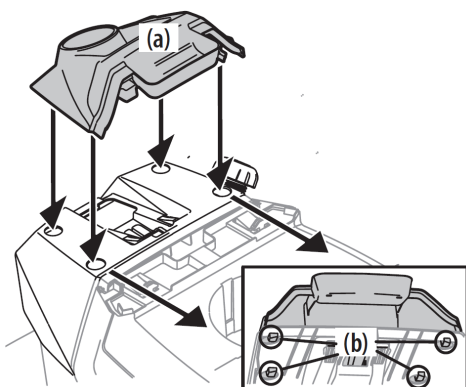


Figure 13

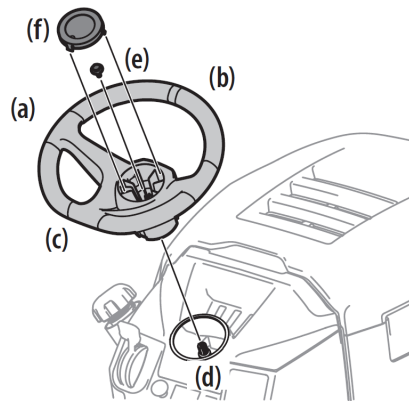
注：ダッシュキャップの下部タブ (a) をオペレーターの位置に向けて押して、ダッシュキャップの下部タブが所定の位置にあることを確認してください。

ステアリングホイールの取り付け (必要な場合)

ステアリングホイールを取り付けるためのハードウェアは、ステアリングホイールキャップの下のステアリングホイール内に詰め込まれています。ハンドルキャップを慎重にこじって外し、ハードウェアを取り外します。

重要！ステアリングホイールの取り付けまたは取り外しにインパクトツールを使用しないでください。これを行うと、過剰なトルクが発生し、留め具が損傷する可能性があります。

- トラクターの車輪が真っ直ぐ前を向いている状態で、ハンドルの前部の中心線 (b) (a) を真っ直ぐ前に向け、ハンドルの平らな部分 (c) を使用して、ハンドル (a) を位置合わせします。(a) シートに向けて、ステアリングホイール (a) をステアリングシャフト (d) の上に置きます。図14を参照。



- ステアリングホイールキャップ (f) の下から六角ボルト (e) でステアリングホイール (a) を固定し、18~22 フィートポンド (24.4-29.8 N-m) のトルクで締めます。図14を参。
- ステアリングホイールキャップ (f) をステアリングホイール (a) の中央に置き、カチッと音がするまで押し下げます。

注：ハンドル (a) を固定している六角ボルト (e) にはネジロッカーが付いているので、取り外した場合は、六角ボルト (a) を交換するか、ネジロックを再度かけることをお勧めします。

フロントバンパーの取り付け (装備されている場合)



警告

準備手順を実行する前に、PTOを解除し、ブレーキロックをかけ、トラクターエンジンを停止します。取り付けまたは取り外し手順を開始する前に、トラクターをしっかりした平らな面に置きます。

エキゾーストシステムとその周辺はHOTです。怪我をしないように、ブラシガードの取り付けまたは取り外し手順を開始する前に、トラクターを冷ましてください。

フロントバンパーを取り付けるためのハードウェアは、バンパーに取り付けられた状態で出荷されます。

1. バンパー (b) から4本の六角ネジ (a) を取り外します。
2. バンパーブラケットをトラクターの内側に配置します。フレームと4つの六角フランジネジで所定の位置に固定します (a)。図15を参照。

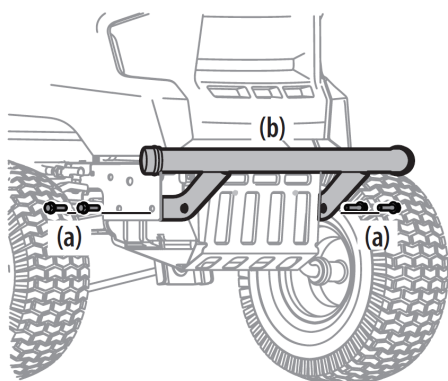


Figure 15

FASTATTACH™ブラッシュガードの取り付け (装備されている場合)

1. ブラシガードアセンブリをFastAttach™に合わせます。ブラケットとブッシュアセンブリを一緒に押します。図16参照。

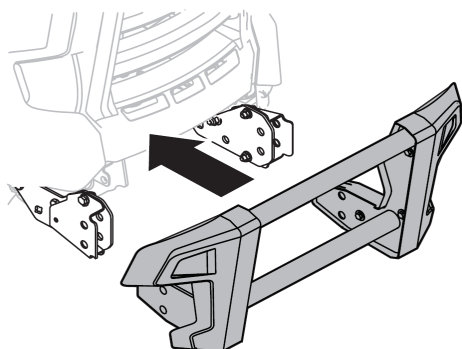


Figure 16

2. ブラシガードの左右にピンを取り付け、次に、ハードウェアバックにある2つの割りピンで固定します。図17参照。

注: ブラシガードを軽く引き上げると、ピンの取り付けが簡単です。

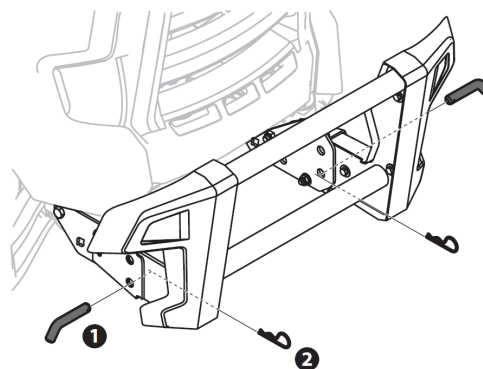


Figure 17

下部デッキ排出シュートデフレクター



シュートデフレクターを取り付けて下の位置にしないで、モアデッキを操作しないでください。

42"デッキモデルの場合：

1. 輸送のためにシュートデフレクターを上向きに保持している可能性のある輸送用ブレースがないか、トラクターデッキを確認してください。ブレースが存在する場合は、トラクターを操作する前にブレースを取り外す必要があります。シュートデフレクターを完全に上向きに保持し、輸送用ブレースを取り外します。シュートデフレクターを下げ、輸送用ブレースを廃棄します。図19を参照。

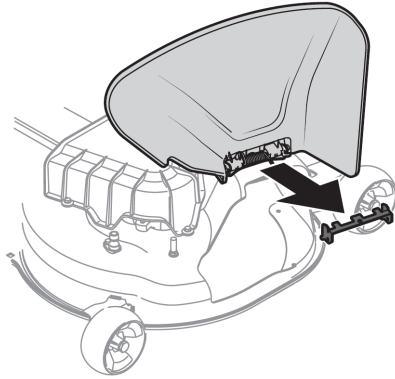


Figure 19

デッキホイールの設定

注：デッキホイールはデッキの頭皮防止機能であり、カッティングデッキの重量を支えるようには設計されていません。

1. トラクターを平らな面、できれば舗装に移動します。
2. タイヤの空気圧を確認し、必要に応じて調整します。タイヤサイドウォールを見る 適切なタイヤ空気圧のために。
3. デッキが左右に水平で、適切なピッチになっていることを確認してください。デッキレベルリングについては、サービスとメンテナンスのセクションを参照してください 情報と指示。
4. デッキリフトレバーを希望の草刈り高さの位置に置きます。
5. ホイールが下の表面と接触または過度のクリアランスがないか確認してください。

注：デッキホイールは、地面から1/4 "-1/2" (6.35-12.7 mm) のクリアランスが必要です。ホイールを調整するには、次の手順に従います。

- a. デッキリフトハンドルを最高の高さ設定に上げます。
- b. フロント (a) とリア (b) のデッキホイールを次の方法で取り外します。フランジロックナット (c) とショルダーボルト (d) の取り外し それらをデッキに固定します。図20を参照。

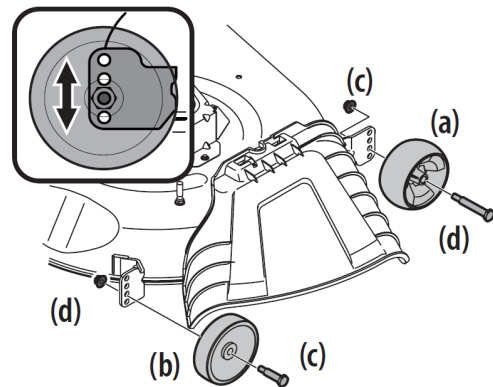


Figure 20

- c. デッキリフトレバーを希望の草刈り高さ設定に置きます。
- d. ショルダーボルト (各デッキホイール付き) を、ホイールの下部と舗装の間に約1/2インチ (13 mm) を残すインデックス穴に再挿入します。トルクレンチを使用して、フランジロックナットとショルダーボルトを25-30 ft-lbs (33.9-40.7 N-m) の間に締めます。

バッテリー情報



警告

カリフォルニア州提案65警告： バッテリーポスト、端子、および関連アクセサリには、鉛および鉛化合物が含まれています。これらの化学物質は、カリフォルニア州で癌や生殖障害を引き起こすことが知られています。取り扱い後は手を洗ってください。



警告

バッテリーの酸が誤って目に飛び散ったり、皮膚に、すぐに患部を洗い流してください きれいな冷水。直ちに医師の診察を受けてください。

衣服に酸がこぼれた場合は、まずきれいな水で希釈してから、アンモニア/水または重曹/水の溶液で中和してください。

充電器がオンになっている間は、バッテリー充電器クリップをバッテリーに接続 (または切断) しないでください。火花が発生する可能性があります。

すべての発火源 (タバコ、マッチ、ライター) をバッテリーから遠ざけてください。充電中に発生するガスは可燃性です。

常に目を保護し、皮膚や衣服を保護する 電池の近くで作業します。

換気の良い場所でのみバッテリーを充電してください。

バッテリーの近くで作業するときは、常に目を保護し、皮膚や衣服を保護してください。

バッテリーには硫酸が含まれており、爆発性ガスを放出する可能性があります。バッテリーの取り扱いには細心の注意を払ってください。電池は子供の手の届かないところに保管してください。

⚠ 注意

バッテリーケーブルを接続するときは、必ず最初に**POSITIVE (赤) 線**を接続し、次に**NEGATIVE (黒) 線**を接続してください。

注：バッテリーのプラス端子にはPosのマークが付いています。(+)。バッテリーのマイナス端子にはNegのマークが付いています。(-)。

バッテリーケーブルの接続

⚠ 警告

マイナスのリード線を接続する前に、必ず**プラスのリード線をバッテリーに接続してください**。これにより、ケーブルの接続に使用されている工具とトラクター本体が接触することによって引き起こされる電氣的短絡による火花や怪我を防ぐことができます。

輸送上の理由により、工場では両方のバッテリーケーブルを端子から外したままにする場合があります。バッテリーケーブルを接続するには、次の手順に従います。

1. 存在する場合は、バッテリーのプラスケーブルからプラスチックカバーを取り外します。六角ボルト (a) とナット (b) を使用して、赤いコネクタをバッテリーのプラス端子 (+) に取り付けます。図21を参照。
2. 存在する場合は、バッテリーのマイナス端子からプラスチックカバーを取り外し、黒いケーブルをバッテリーのマイナス端子 (-) に六角ボルト (a) とナット (b) で取り付けます。図21を参照してください。
3. 赤いゴム製のブーツ (c) をバッテリーのプラス端子の上に置き、腐食から保護します。

注：バッテリーの上面/側面に表示されている日付以降にバッテリーを使用する場合は、トラクターを操作する前に、「サービスマニュアル」セクションの指示に従ってバッテリーを充電してください。

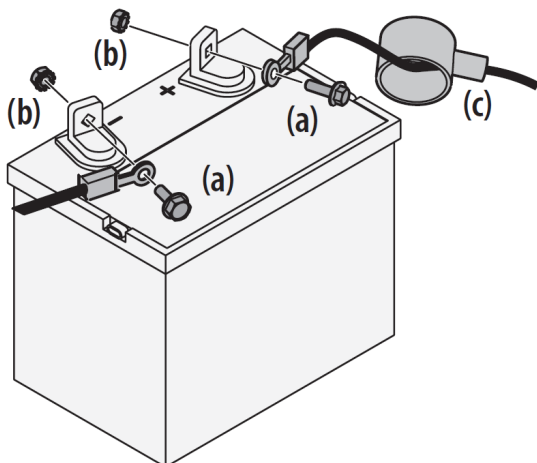


Figure 21

バッテリーのメンテナンス

- ・ バッテリーはバッテリーの酸で満たされ、次の場所で密閉されます。工場。ただし、「メンテナンスフリー」のバッテリーでも適切なライフサイクルを確保するには、ある程度のメンテナンスが必要です。

- ・ 腐食から保護するために、端子と露出したワイヤにバッテリー端子シーラーをスプレーするか、端子にグリースまたはワセリンを薄くコーティングします。
- ・ バッテリーケーブルと端子は常に清潔で腐食のない状態に保ってください。
- ・ 一部のモデルには、液体電解質を含むバッテリーが装備されています。バッテリーの取り扱いには注意し、漏れを防ぐために転倒しないようにしてください。

バッテリーの保存

- ・ トラクターを長期間保管する場合は、バッテリーのマイナスケーブルを外してください。バッテリーを取り外す必要はありません。
- ・ すべてのバッテリーは保管中に放電します。バッテリーの外側、特に上部を清潔に保ってください。汚れたバッテリーはより急速に放電します。
- ・ バッテリーはフル充電して保管する必要があります。放電したバッテリーは、充電したバッテリーよりも早く凍結する可能性があります。完全に充電されたバッテリーは、高温よりも低温で長く保存されます。
- ・ 使用する前にバッテリーを充電してください。トラクターが始動しても、エンジン充電システムがバッテリーを完全に充電できない場合があります。

バッテリーの取り外し

⚠ 警告

バッテリーポスト、端子、および関連アクセサリーには、鉛および鉛化合物が含まれています。取り扱い後は手を洗ってください。

バッテリーはシートフレームの下にあります。バッテリーを取り外すには：

1. フックの端をフェンダーのタブからバッテリーの右側に押し出して、バッテリーホールドダウンブラケットを取り外します。次に、バッテリーホールドブラケットを上に向けてバッテリーを解放します。図22参照。

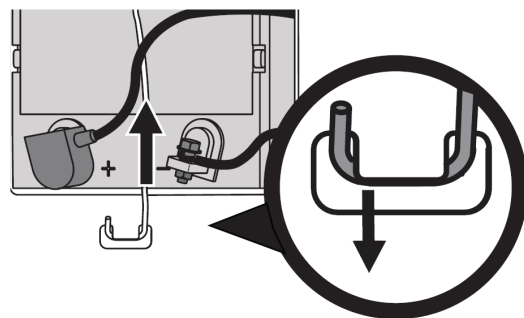


Figure 22

2. 黒のマイナスバッテリーリードをマイナスバッテリーポスト（NEGとマーク）に固定している六角キャップネジとナットを取り外します。ケーブルをバッテリーのマイナスポストから離します。
3. 赤いプラスのバッテリーリード線をプラスのバッテリーポスト（POSとマークされている）に固定している六角キャップのネジとナットを取り外します。
4. バッテリーをトラクターから慎重に持ち上げます。
5. 上記の手順を逆の順序で繰り返して、バッテリーを取り付けます。

バッテリーの充電

トラクターを一定期間保管した後、バッテリーをテストし、必要に応じて再充電します。

鉛蓄電池を搭載したモデル

- ・ バッテリー端子間の電圧計または負荷テスターの読み取り値が12.4ボルト（DC）以下の場合、バッテリーを充電する必要があることを示しています。。
- ・ 鉛蓄電池充電器を使用する必要があります。推奨充電率は4A / 14.7Vです。
- ・ バッテリー充電器が自動の場合は、充電が完了したことを充電器が示すまでバッテリーを充電してください。充電器が自動でない場合は、8時間以上充電してください。。

AGMバッテリーを搭載したモデル

- ・ AGMバッテリー充電器を使用する必要があります。推奨充電率は1.1A / 14.8Vです。
- ・ バッテリー充電器が自動の場合は、充電が完了したことを充電器が示すまでバッテリーを充電してください。充電器が自動でない場合は、8時間以上充電してください。。

シートの調整

シートの位置を調整するには、シート調整レバーを持ち上げます。シートを前後にスライドさせて目的の位置にします。次に、調整レバーを放します。トラクターを操作する前に、シートが所定の位置にロックされていることを確認してください。図23参照。

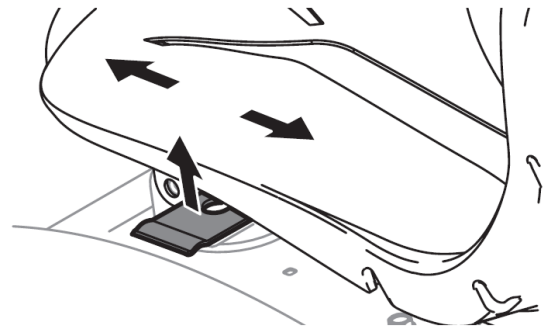


Figure 23

オイル

注：トラクターはエンジンにオイルが入った状態で出荷されます。ただし、操作する前にオイルレベルを確認する必要があります。

警告

使用する前に必ずエンジンオイルレベルを確認してください。必要に応じてオイルを追加します。エンジンオイルが不足していると、エンジンに重大な損傷を与える可能性があります。

操 作

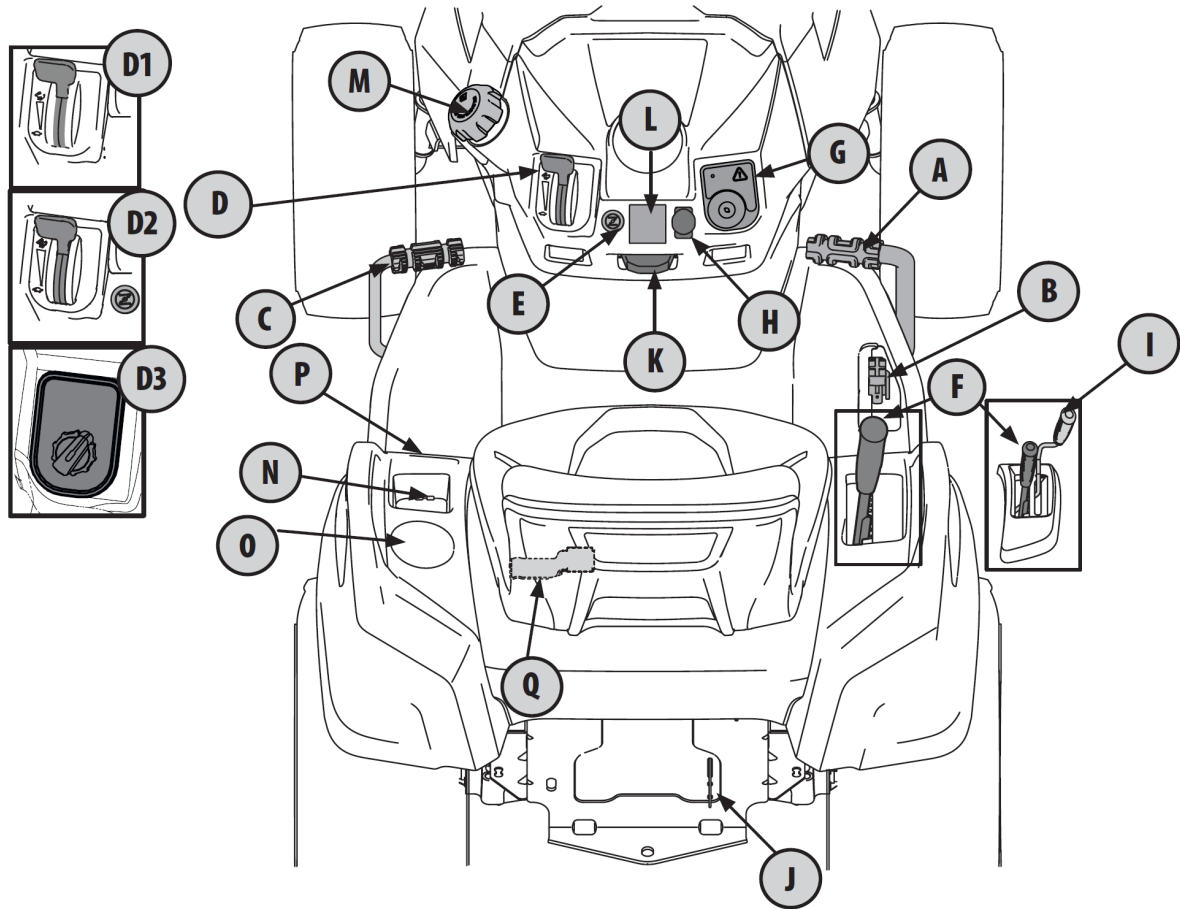


Figure 25

注：このオペレータズマニュアルは、いくつかのモデルをカバーしています。トラクターの機能はモデルによって異なる場合があります。このマニュアルのすべての機能がすべてのトラクターモデルに適用できるわけではなく、描かれているトラクターは実際のトラクターとは異なる場合があります。

注：このマニュアルでトラクターの左側または右側、および前面または背面を参照している場合は、すべて操作位置からのみ参照してください。例外がある場合は、それが指定されます。

A フォワードドライブペダル

前進ドライブペダルを前方に踏み込むと、トラクターが前方に移動できるようになります。ペダルを前方に踏み込むほど、トラクターの移動速度が速くなります。ペダルを踏まないと、元の位置/ニュートラル位置に戻ります。。

B リバースドライブペダル

リバースドライブペダルを下に押しして、トラクターが後方に移動できるようにします。ペダルをさらに踏み込むほど、トラクターの移動速度が速くなります。ペダルを踏まないと、ペダルは元の位置/ニュートラル位置に戻ります。

C ブレーキペダル

トラクターの使用中にブレーキペダルを踏むと、トラクターが停止し、パーキングブレーキが設定されます。

注：トラクターを始動するには、ブレーキペダルを完全に踏み込む必要があります。

D スロットル/チョークコントロールレバー、スロットルコントロール、または電子ガバナークontrol

1. スロットル/チョークコントロールレバー (装備されている場合) -

スロットル/チョークコントロールレバーを前方に動かして、エンジン速度を上げます。トラクターは、トラクターが運転されており、芝刈り機のデッキが作動しているときに、スロットル/チョークコントロールレバーが全開 (FAST) で動作するように設計されています。スロットル/チョークコントロールレバーを後方に引いて、エンジン回転数を下げます。エンジンを始動するときは、コントロールレバーを前方に完全に押ししてチョーク位置にします。エンジンを始動して暖めた後、チョーク戻り止めを通過するのを感じるまでコントロールレバーを後方に動かします。スロットルはユニットの速度を制御するためのものではありません。ブレードを操作している間、スロットルは高速のままである必要があります。

2. スロットルコントロール (装備されている場合) -

スロットルコントロールレバーを前方に押しと、エンジン回転数が上がります。トラクターは、トラクターが運転されており、トラクターのデッキが作動しているときに、スロットルコントロールレバーが全開 (FAST) で動作するように設計されています。スロットルコントロールレバーを後方に引くと、エンジン回転数が下がります。

3. 電子ガバナークontrol (装備されている場合)

特定の位置に設定すると、均一なエンジン速度が維持されます。電子ガバナ制御には、エンジン速度を維持するためのさまざまな入力があります。通常の切断条件で最適な切断性能を得るには、CUT設定を使用してください。重い切削条件で最適な切削性能を得るには、POWERCUT設定を使用してください。

注：トラクターに電子ガバナークontrolが装備されている場合、トラクターはダイヤルに沿った任意の速度設定で始動でき、希望のエンジン速度設定に自動的に調整されます。

注：エンジンが適切なエンジン速度に調整されるまで、始動後数秒かかる場合があります。これは正常です。

E チョークコントロール (装備されている場合)

チョークコントロールは、エンジンチョークの位置を決定します。ノブを引き出してエンジンを詰まらせます。ノブを押し込んでチョークを開きます。装備されている場合、チョークコントロールはスロットルコントロール (D2) とペアになります。チョークコントロールを外側に引くと、コールドスタートのためにチョークが閉じます。始動したら、常にチョークコントロールを内側に押し込んだ状態でエンジンを運転します。



F デッキリフトレバー

デッキリフトレバーは、デッキを上下させるために使用されます。レバーをインデックスノッチから左に引いて下に押し、デッキが下がり、上に引くとデッキが上がります。希望の高さになったら、インデックスノッチに完全にかみ合うまでリフトレバーを右に動かします。

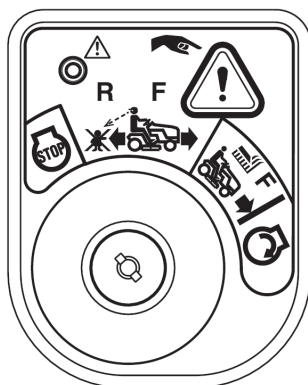
G イグニッション スイッチ

ターンキースタート (装備されている場合)

警告

走行中のトラクターを放置しないでください。意図しない始動を防ぐために、常にPTOを解除し、パーキングブレーキを設定し、エンジンを停止し、キーを取り外してください。

エンジンの始動方法については、エンジンの始動を参照してください。エンジンを停止する方法については、エンジンの停止を参照してください。



警告

トラクターを操作する前に、イグニッションスイッチモジュールとリバース注意モードでのトラクターの操作に関する詳細な手順については、このマニュアルの「操作」セクションの「安全インターロックシステム」と「エンジンの始動」の両方を参照してください。

PBS (プッシュボタンスタート) / サービスマインド&アワーメーター (装備されている場合)

警告

走行中のトラクターを放置しないでください。常にPTOを解除し、パーキングブレーキを設定し、エンジンを停止してキーを取り外します。

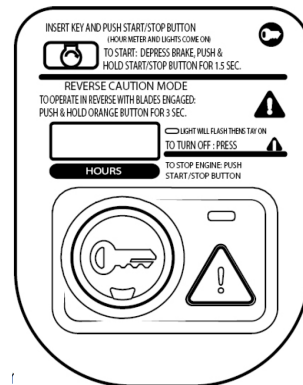
注：起動中にリバースコーションモード (REVERSE CAUTION MODEボタン) を押し、再起動する必要があります。

エンジン停止するには、イグニッションキーを押すか取り外します。

イグニッションキーを挿入して押した時間が 0.5 秒後、LCD Service Minder & Hour Meter はバッテリー電圧を短時間表示し、続いてトラクターの累積時間を表示します。

注：トラクターの運転時間は、エンジンが作動しているときにのみ記録されます。

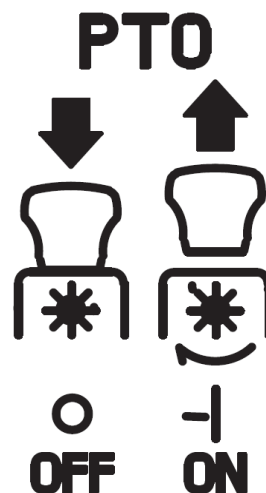
LCD Service Minder は、エンジンオイルの交換、エアフィルターサービス、エンジンオイルの低下、バッテリーの低下または上昇の警告のメンテナンス間隔をオペレーターに通知します。



G パワーテイクオフ (PTO) (ブレードエンゲージ) スイッチ (電気PTO) (装備されている場合)

PTO (Blade Engage) スイッチは、エンジンクランクシャフトの下部に取り付けられた電動PTOクラッチを操作します。スイッチノブを外側に引いてPTOクラッチを接続するか、ノブを内側に押しつけてクラッチを切断します。

エンジンを始動するときには、PTO (ブレードエンゲージ) スイッチをオフの位置にする必要があります。PTOの使用に関する情報と手順については、「PTOの使用 (ブレードの使用) (電動PTOトラクター)」セクションを参照してください。



I PTO (ブレードエンゲージ) レバー (手動PTO)

PTO (Blade Engage) レバーをアクティブにすると、カッティングデッキまたは他の(別売りの)アタッチメントに電力が供給されます。PTOの使用に関する情報と手順については、「PTOの使用(ブレードの使用)(手動PTOトラクター)」セクションを参照してください。

J トランスミッションバイパスロッド

ロッドが係合すると、静水圧トランスミッション内のバイパスが開き、トラクターを手で短距離押すことができます。バイパス機能の使用方法については、アセンブリのセクションを参照してください。

⚠ 注意

トラクターをけん引しないでください。後輪を地面に置いた状態でトラクターを牽引すると、トランスミッションに重大な損傷を与える可能性があります。

K パーキングブレーキ/クルーズコントロールレバー

パーキングブレーキ/クルーズコントロールレバーは、パーキングブレーキとクルーズコントロール。パーキングブレーキの詳細な手順については、このマニュアルの「トラクターの運転」セクションを参照してください。



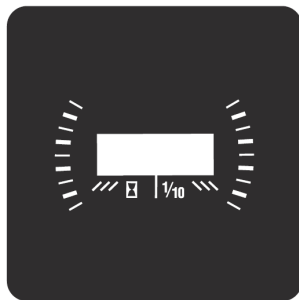
注: オペレーターがエンジンをかけたままシートを離れる場合は、パーキングブレーキを設定する必要があります。そうしないと、エンジンが自動的に停止します。

注: クルーズコントロールは、トラクターの最速の速度では使用できません。

L アワーメーター

LCDサービスマインド&アワーメーター(装備されている場合)

LCDサービスマインドは、エンジンオイルの交換、エアフィルターサービス、エンジン低下およびバッテリー低下の警告のメンテナンス間隔をオペレーターに通知します。キーがSTOP位置から回転しているが、START位置にない場合、LCD Service Minder & Hour Meterはバッテリー電圧を短時間表示し、続いてトラクターの累積時間を表示します。



注: イグニッションキーがSTOP位置から外れると、エンジンが始動しているかどうかに関係なく、砂時計の記号が点灯/点滅して、トラクターの運転時間を記録していることを示します。

オイル交換

LCD画面は、文字「CHG」、「OIL」、「SOON」、メーターの累積時間を交互に表示します。「CHG / OIL / SOON / TIME」は、メーターが50時間に達した後、7分間ディスプレイに交互に表示されます。このオイルサービスマインドインターバルは50時間ごとに発生します。間隔が切れる前に、エンジンオイルを交換してください。

低油圧機能

注: 低油圧機能は、エンジンに油圧スイッチが装備されている場合にのみ機能します。

LCD画面には、「LO」、「OIL」、メーターの累積時間が交互に表示されます。これは、エンジンの油圧が低いことを示します。これは、エンジンを始動するときによく見られます。始動後、エンジンが十分に圧力をかけるまで、インジケータはアクティブのままになります。エンジンが全速力で作動し、数分間運転した後も作動している場合は、すぐにトラクターを停止し、エンジンオイルレベルを確認して、エンジンオイルを追加してください。オイルレベルが正しく、インジケータが続く場合は、販売店に連絡してください。

電圧の低いバッテリー

起動時に、バッテリー電圧が短時間表示され、その後、累積時間に変ります。「LO」の文字の後に「BATT」の文字が表示され、その後メーターの累積時間が表示されます。電圧が11.5ボルトを下回ると、LCDに「LO / BATT / TIME」と表示されます。これが発生した場合、バッテリーの充電が必要であるか、エンジンの充電システムが十分なアンペア数を生成していません。このマニュアルの「サービスとメンテナンス」セクションの指示に従ってバッテリーを充電してください。

エアフィルターサービス

LCD画面には、「CLN」、「AIR」、「FILT」、メーターの累積時間が表示されます。「CLN / AIR / FILT / TIME」は、メーターが25時間に達した後、7分間ディスプレイに交互に表示されます。このエアフィルターサービスマインドの時間間隔は25時間ごとになります。オイルサービスと共通の間隔で、オイルメッセージが最初に表示され、次にエアフィルターメッセージが表示されます。

M 燃料タンクキャップ

燃料キャップを反時計回りに2回以上回し、上に引いて取り外します。燃料キャップは、燃料タンクの紛失を防ぐために燃料タンクにつながっています。燃料タンクからキャップを外そうとしないでください。タンクをフィルターネックの底から1/2インチ(12.7 mm)まで満たして、燃料を膨張させるためにタンク内にある程度のスペースを確保します。タンクをいっぱいにししないでください。燃料タンクには約3ガロン(11.35 L)のガソリンが入ります。

燃料タンクのフィルターネックのキャップを下に押し、時計回りに2回以上回して締めます。取り外した後は、必ず燃料キャップを燃料タンクにしっかりと取り付け直してください。

警告

エンジンが作動しているときは、燃料タンクに燃料を入れないでください。最近運転してエンジンが熱くなっている場合は、給油する前に少なくとも5分間冷ましてください。可燃性の高いガソリンがエンジンに飛散し、火災の原因となることがあります。

N ストレージトレイ

収納トレイは運転席の左側にあります。

O カップホルダー

カップホルダーは運転席の左側にあります。

P デフロックペダル (装備されている場合)

デフロックを作動させると、リアタイヤのホイール速度が等しくなるため、トラクションが向上します。デフロックの使用の詳細については、「デフロックの使用」セクションを参照してください。

Q シート調整レバー

シート調整レバーにより、運転席の前後に調整できます。シート位置の調整方法については、組み立てのセクションを参照してください。

ヘッドライト (表示されていません)

ターンキートラクターでは、イグニッションキーがSTOP位置から回転するたびにライトが点灯します。イグニッションキーをSTOP位置に動かすとライトが消灯します。

PBSトラクターでは、PBSoduleがオンのときは常にライトがオンになります。イグニッションキーを1回押すと、シートに乗らずにヘッドライトを15秒間作動させることができます。ヘッドライトをアクティブに保つには、シートに座るか、エンジンを始動/実行します。

操作

トラクターを操作する前に

- 操作前に、メンテナンススケジュールチャートを参照してください。定期的にスケジュールされるサービス項目については、このマニュアルに記載されています。
- このエンジンは、クリーンでフレッシュな無鉛ガソリンでのみ動作することが認定されています。清潔で新鮮な無鉛ガソリンのみを充填してください。
- 燃料システム内のガムの堆積を最小限に抑えるために、前シーズンから残ったガソリンを使用しないでください。

安全インターロックシステム

警告

安全インターロックシステムが故障している場合は、トラクターを操作しないでください。このシステムはあなたの安全と保護のために設計されました。

このトラクターには、オペレーターを保護するための安全インターロックシステムが装備されています。安全インターロックシステムが故障した場合は、トラクターを操作しないでください。認定サービスディーラーにお問い合わせください。

- 安全インターロックシステムは、パーキングブレーキがかかっているか、オペレーターがシートにいてブレーキペダルが完全に踏み込まれていない限り、エンジンのクランキングや始動を防ぎます。PTO (ブレードエンゲージ) スイッチまたはPTO (ブレードエンゲージ) レバーは外されています。(オフ) 位置。
- オペレーターがパーキングブレーキをかける前にシートを離れると、エンジンは自動的に停止します。
- パーキングブレーキがかかっているかどうかに関係なく、オペレーターがPTO (ブレードエンゲージ) スイッチまたはPTO (ブレードエンゲージ) レバーをエンゲージ (オン) 位置にしてトラクターのシートを離れると、エンジンは自動的に停止します。
- イグニッションキーがNORMALMOWINGの位置にある場合、PTO (Blade Engage) スイッチまたはPTO (Blade Engage) レバーをドライブペダルで係合 (ON) 位置に動かすと、電動PTO (Blade Engage) クラッチが自動的にオフになります。リバーストラベルの位置にあります。

安全インターロック回路の確認

安全インターロック回路を定期的にチェックして、正しく機能していることを確認してください。安全回路が設計どおりに作動しない場合は、販売店に連絡してトラクターの検査を依頼してください。安全回路が正常に機能していない場合は、トラクターを操作しないでください。安全回路を確認するには、次の手順に従います。

- エンジンをオフにしてシートに座った状態で、PTOコントロール (PTO (ブレードエンゲージ) スイッチまたはPTO (ブレードエンゲージ) レバー) をエンゲージ (オン) の位置にします。イグニッションスイッチを瞬間的にSTART位置に回します。エンジンはクランキングしないでください。
- トラクターが作動していて、パーキングブレーキがかかっている状態で運転席から立ち上がるとエンジンは停止します。
- パーキングブレーキをかけた状態で、PTOをて、運転席から立ち上がると、エンジンは停止します。

エンジンの始動

注意

エンジンを始動するときは、オペレーターはトラクターの座席に座っている必要があります。

個別のスロットルとターンキー点火 チョークコントロール

1. イグニッションキーをイグニッションスイッチに挿入します。
2. PTO (ブレードエンゲージ) スイッチまたはPTO (ブレードエンゲージ) レバーをオフの位置にします。
3. トラクターのパーキングブレーキをかけます。
4. チョークコントロールを作動させます (装備されている場合)。

注: エンジンがウォームアップされている場合は、エンジンをチョークする必要がない場合があります。

5. スロットルコントロールレバーをFAST位置とSLOW位置の中間に動かします。

注: トラクターを操作するときは、スロットルがレバーは常にFASTの位置にあります。

6. イグニッションキーを時計回りにSTART位置まで回します。エンジン始動後、キーを離します。通常の芝刈り位置に戻ります。

注意

キーをSTART位置に長く保持しないでください。一度に10秒。エンジンの電動スターターが損傷する可能性があります。

7. エンジンが暖まったら、チョークコントロールを外します。エンジンを始動するために必要な場合を除いて、チョークコントロールを使用して燃料混合物を濃縮しないでください。
8. エンジンに負荷をかける前に、スロットルの途中でエンジンを数分間作動させます。

注: トラクターを操作するときは、スロットルコントロールレバーが常にFAST位置にあることを確認してください。

9. アワーメーター/インジケーターパネルを観察します。バッテリーインジケーターランプまたは油圧ランプが点灯した場合は、すぐにエンジンを停止してください。販売店にトラクターの点検を依頼してください。

注: エンジンが作動していないときは油圧がありません。これは油圧ライトで示される場合があります。

スロットル/チョークコントロールを備えたターンキーイグニッション TURN-KEY IGNITION WITH THROTTLE/CHOKE CONTROL

1. イグニッションキーをイグニッションスイッチに挿入します。
2. PTO (ブレードエンゲージ) スイッチまたはPTO (ブレードエンゲージ) レバーをオフの位置にします。
3. トラクターのパーキングブレーキをかけます。
4. スロットルコントロールレバーを上を押して、戻り止めを越えて、チョークをかけます。

注: エンジンがウォームアップされている場合は、エンジンをチョークする必要がない場合があります。

5. イグニッションキーを時計回りにSTART位置まで回します。エンジン始動後、キーを離します。通常の芝刈り位置に戻ります。

注意

キーをSTART位置に長く保持しないでください。一度に10秒。エンジンの電動スターターが損傷する可能性があります。

6. エンジンが温まったら、スロットル/チョークを徐々に引いてください。コントロールレバーがチョーク戻り止め位置を超えて後方に移動します。エンジンを始動するために必要な場合を除いて、燃料混合物を濃縮するためにチョーク位置を使用しないでください。
7. スロットルの途中でエンジンを数分間作動させます。エンジンに負荷をかける前に。

注: トラクターを操作するときは、スロットルレバーが常にFAST位置にあることを確認してください。

8. アワーメーター/インジケーターパネルを観察します。バッテリーインジケーターランプまたは油圧ランプが点灯した場合は、すぐにエンジンを停止してください。認定サービスディーラーにトラクターの点検を依頼してください。

注: エンジンが作動していないときは油圧がありません。これは油圧ライトで示される場合があります。

電子式のターンキーイグニッション ガバナーコントロール

1. イグニッションキーをイグニッションスイッチに挿入します。
2. PTO (ブレードエンゲージ) スイッチまたはPTO (ブレードエンゲージ) レバーをオフの位置にします。
3. トラクターのパーキングブレーキをかけます。
4. 電子ガバナーコントロールダイヤルを希望のエンジン速度設定に設定します。

注: トラクターに電子ガバナーコントロールが装備されている場合、トラクターはダイヤルに沿った任意の速度設定で始動でき、希望のエンジン速度設定に自動的に調整されます。

5. イグニッションキーを時計回りにSTART位置まで回します。エンジン始動後、キーを離します。通常の芝刈り位置に戻ります。

注: エンジン始動後、エンジンが始動するまでに数秒かかる場合があります。適切なエンジン速度に調整します。これは正常です。

PBSイグニッション

1. PTO (ブレードエンゲージ) スイッチまたはPTO (ブレードエンゲージ) レバーをオフの位置に置き、シートに座ります。PBSイグニッションが機能するには、座席に座っている必要があります。
2. イグニッションキーを挿入します。
3. トラクターのパーキングブレーキをかけます。
4. スロットルをFASTの位置に動かします。
5. イグニッションキーを押します。エンジン始動後、キーを離します。伸ばされた位置に戻ります。

注: トラクターを操作するときは、スロットルがコントロールレバーは常にFAST位置にあります。フルスロットル未達でスロットルを操作すると、バッテリーの寿命が短くなる可能性があります。

寒い時期でのエンジン始動

氷点下以下の温度でエンジンを始動するときは、エンジンに適切な粘度のモーターオイルが使用され、バッテリーが完全に充電されていることを確認してください。次のようにエンジンを始動します。

1. バッテリーが良好な状態であることを確認してください。ウォームバッテリーは、コールドバッテリーよりもはるかに多くの始動容量を備えています。
2. 新鮮な冬用燃料を使用してください。冬季グレードのガソリンは、始動性を向上させるために揮発性が高くなっています。夏に残ったガソリンは使用しないでください。
3. エンジンを始動するための前の指示に従ってください。

ジャンパーケーブルを使用してエンジンを始動する

警告

バッテリーには硫酸が含まれており、爆発性ガスを発生します。その場所が十分に換気されていることを確認し、手袋と目の保護具を着用し、バッテリーの近くで火花や炎を避けてください。

バッテリーの充電がエンジンをクランキングするのに十分な場合、バッテリーを充電してください。バッテリー充電器が利用できず、トラクターを始動する必要がある場合は、ブースターバッテリーの補助が必要になります。ブースターバッテリーを次のように接続します。

1. 1本のケーブルの端を無効になっているトラクターのバッテリーのプラス端子に接続します。次に、そのケーブルのもう一方の端をブースターバッテリーのプラス端子に接続します。
2. もう一方のケーブルの一方の端をブースターバッテリーのマイナス端子に接続します。次に、そのケーブルのもう一方の端を、バッテリーからできるだけ離して、無効になっているトラクターのフレームに接続します。
3. 通常の始動に続いて、無効にされたトラクターを始動します。以前に提供された指示; 次に、ジャンパーケーブルを接続とまったく逆の順序で取り外します。
4. ジャンプスタートの必要性を排除するために、トラクターの電気システムをできるだけ早くチェックして修理してもらいます。

エンジンの停止

1. ブレードがかみ合っている場合は、PTO (ブレードエンゲージ) スイッチまたはPTO (ブレードエンゲージ) レバーをオフの位置にします。
2. トラクターのパーキングブレーキをかけます。
3. スロットルコントロールをFAST位置とSLOW位置の中間に配置します。
4. イグニッションキーを反時計回りにSTOP位置まで回すか、PBSユニットでイグニッションキーを押すか取り外します。

トラクターの運転

警告

前進および後進ドライブペダルとブレーキペダルのすべての動きをゆっくりとスムーズに保ちます。ドライブペダルまたはブレーキペダルの急激な動きは、トラクターの安定性に影響を及ぼし、トラクターがひっくり返る原因となる可能性があります、その結果、オペレーターに重傷を負ったり死亡する可能性があります。

1. ブレーキペダルを踏んでパーキングブレーキを解除します。スロットルをFASTの位置に動かします。
2. 前進するには、希望の速度が得られるまで、前進ドライブペダル (a) をゆっくりと前方に踏み込みます。図26参照。
3. REVERSEで走行するには、後ろの領域が空いていることを確認してから、希望の速度が得られるまでリバースドライブペダル (b) をゆっくりと踏み込みます。図26参照。

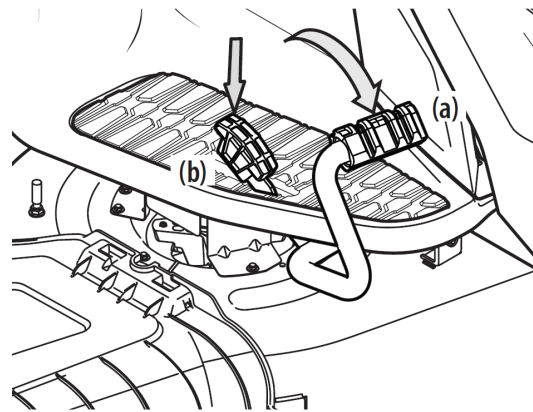


Figure 26

警告

- ・ 急旋回はトラクターの制御に影響を与える可能性があります。旋回する前に、必ずトラクターの速度を落としてください。

最初にPTO (Blade Engage) スイッチまたはレバーをDISENGAGED (OFF) 位置に置き、パーキングブレーキをかけずに、トラクターのシートを離れないでください。トラクターを放置する場合は、エンジンを停止し、イグニッションキーを取り外します。

パーキングブレーキをかける

注: オペレーターが離れる場合は、パーキングブレーキを設定する必要があります。エンジンが作動している状態で立ち上がると、エンジンが自動的に停止します。

パーキングブレーキを設定するには:

1. 左足でブレーキペダルを完全に踏み込み、その位置に保持します。
2. パーキングブレーキ/クルーズコントロールレバーを押し下げ、その位置に保持します。

- ブレーキペダルから足を離します。
- パーキングブレーキ/クルーズコントロールレバーから指を放します。

ステップ3を完了した後、ブレーキペダルは下の位置に留まるはずですが、そうでない場合、パーキングブレーキは作動していません。手順1~4を繰り返して、パーキングブレーキをかけます。

パーキングブレーキを解除するには、ブレーキペダルを踏みません。

クルーズコントロールの設定

警告

後進中は、クルーズコントロールレバーを操作しないでください。後進中はクルーズコントロールは作動しません。

クルーズコントロールを設定するには：

- 希望の速度が得られるまで、右足で前進ドライブペダルを踏みます。
- パーキングブレーキ/クルーズコントロールレバーを押し下げて、その位置に保持します。
- フォワードドライブペダルから足を離します。
- パーキングブレーキ/クルーズコントロールレバーから指を放します。

前進ドライブペダルは下の位置に留まる必要があり、トラクターは同じ前進ドライブ速度を維持します。そうでない場合、クルーズコントロールは作動していません。手順1~4をもう一度繰り返して、クルーズコントロールを作動させます。

クルーズコントロールを解除するには、前進ドライブペダルまたはブレーキペダルを軽く踏みます。

リバースコーションモード

イグニッションスイッチのREVERSE注意モード位置により、PTO（ブレードエンゲージ）レバーが係合（ON）位置にある状態でトラクターを逆方向に操作できます。

注：逆に向けることはお勧めしません。

警告

リバースコーションモードでトラクターを操作するときは、細心の注意を払ってください。バックの前後は常に見下ろしてください。子供や他の人が近くにいるときは、トラクターを操作しないでください。誰かがそのエリアに入った場合は、すぐにトラクターを停止してください。

リバースコーションモードを使用するには：

注：オペレーターはトラクターの座席に座っている必要があります。

- 以前の指示に従ってエンジンを始動します。
- イグニッションキーを通常の草刈り（a）の位置からイグニッションスイッチのリバースコーションモード（b）の位置に回します。図27参照。

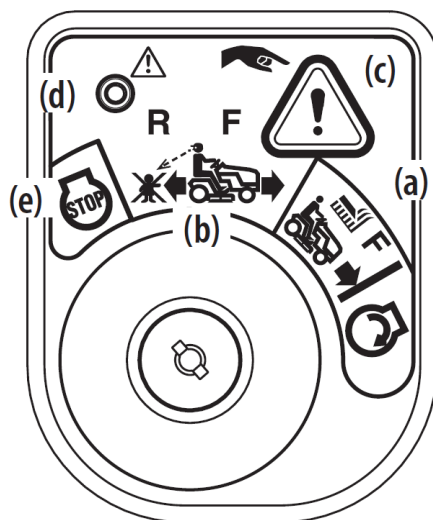


Figure 27

- イグニッションモジュールの右上隅にあるリバースコーションモードボタン（c）を3秒間押し続けます。イグニッションモジュールの左上隅にある赤いインジケータライト（d）が、作動中は点灯します。図27参照。
- 作動すると（インジケータライトがオン）、PTO（ブレードエンゲージ）レバーが係合（オン）位置にある状態でトラクターを後進させることができます。
- 子供がいなかったことを確認するために、ゆっくりとバックし、前と後ろを常に見下ろしてください。前進動作を再開するには、キーを通常の草刈り（a）の位置に戻し、通常の草刈り操作に戻ります。

リバースコーションモード（b）は、次の状態になるまでアクティブのままになります。

- キーは、NORMAL MOWING（a）位置またはSTOP（e）位置のいずれかに配置されます。
- オペレーターがシートを離れる（電動PTO）/パーキングブレーキが設定される（手動PTO）。

リバースコーションモード（PBSイグニッション）

リバース注意モードでは、PTO（ブレードエンゲージ）レバーが係合（オン）位置にある状態でトラクターを逆方向に操作できます。

注：逆に向けることはお勧めしません。

警告

トラクターを操作するときは細心の注意を払ってください。
 リバースコーションモード：
 後ろを向いている間は、常に後ろを見下ろしてください。子供や他の人が近くにいるときは、トラクターを操作しないでください。誰かがそのエリアに入った場合は、すぐにトラクターを停止してください。

PTOのエンゲージメント (ブレードエンゲージ) (電気 PTOトラクター)


PTO (Blade Engage) を使用すると、カッティングデッキまたはその他の (別売りの) アタッチメントに電力が伝達されます。PTOに係合するには:

1. スロットルをFASTの位置に動かします。
2. PTO (Blade Engage) スイッチを外側に引いて、ON位置にします。図25のHを参照。


注: 注: トラクターを操作するときは、スロットルが常にFAST位置にあることを確認してください。フルスロットル未満でスロットルを操作すると、バッテリーの消耗が早まり、カットの品質が低下する可能性があります。

3. PTO (Blade Engage) を解除するには、PTO (Blade Engage) スイッチを内側に押し解除 (OFF) 位置にします。

芝刈り

 **警告**

ブレードの接触や投げられた物体の怪我を防ぐために、操作中は、傍観者、ヘルパー、子供、ペットを機械から少なくとも75フィート (23メートル) 離してください。誰かがそのエリアに入った場合は、機械を停止してください。

 **警告**

芝を刈る場所に、ブレードが当たる可能性のある破片、棒、石、ワイヤー、またはその他の物体がないことを確認してください。

芝生に降ろしたときは、芝刈り機のデッキをすぐに作動させないでください。「V」ベルトとPTOクラッチの早期摩耗と故障の可能性が生じます。芝刈り機のデッキを使用する前に、デッキを完全に上げるか、芝生のない場所に移動してください。

- ・ 斜面を横切るのではなく、上り坂と下り坂を刈り取ります。斜面を刈る場合は、下から始めて上に向かって作業し、曲がり角が上り坂になるようにします。
- ・ 特にマルチキットやグラスバグが取り付けられている場合は、速い速度で刈らないでください。
- ・ 芝生を短く切りすぎないでください。短い草は雑草が生えやすく、乾燥した天候ではすぐに黄色くなります。
- ・ 芝刈り中は、常にスロットルをFAST位置にしてトラクターを操作してください。
- ・ 最初のパスで、刈るエリアの反対側のポイントを選びます。直線を維持するためにポイントに従ってください。
- ・ PTOを作動させ、スロットルコントロールまたはスロットルを動かします。コントロールをFAST位置にチョークします。
- ・ モアデッキを希望の高さ設定まで下げます。
- ・ 最良の結果を得るには、最初の2ラップをカットして、排出物を中央に向けて投げることをお勧めします。最初の2周後、方向を逆にして、カットのバランスをとるために排出口を外側に投げます。これにより、芝生の外観が良くなります。

注: トラクターの速度は、芝刈り機のカットの品質に影響します。全速力で刈ると、カット品質に悪影響を及ぼします。


- ・ トラクターは、高さが10インチ (25 cm) 以下の通常の住宅用芝を刈るように設計されています。異常に背の高い乾いた草 (牧草地など) や乾いた葉の山を刈り取るうとしないでください。乾いた草や葉がエンジンの排気ガスに接触したり、トラクターに堆積したりすることがあります。
- ・ 重いブラシや雑草、または非常に背の高い草を刈ろうとしないでください。このトラクターは、芝生を刈るように設計されています。

- ・ 芝刈り機を刈り取ったストリップの端に合わせ、約3インチ (7.6cm) 重ねます。
- ・ 刃を鋭利に保ち、摩耗したら刃を交換します。
- ・ ストリップのもう一方の端に近づくときは、回転する前に減速または停止します。3ポイントターンをお勧めします。
- ・ 前にカットしたストリップと整列するように、後続の各ストリップのトラクターに指示します。
- ・ 芝のわだち掘れや溝入れを防ぐために、可能であれば、次の刈り取りとその後の刈り取りのために、ストリップが刈り取られる方向を約45°変更します。

芝生の表面で何らかの理由でトラクターを停止するときは、常に次のことを行ってください:

- ・ パーキングブレーキをかけます。
 - ・ エンジンを停止し、イグニッションキーを取り外します。
- そうすることで、トラクターの稼働中のエンジンからの高温の排気によって芝生が「茶色」になる可能性を最小限に抑えることができます。

デフロックの使用 (装備されている場合)

 **警告**

- ・ デフロックがオンのときは、回転半径を大きくし、操舵力を大きくするようにしてください。
- ・ 車両が静止している場合のみ、デフロックをかけます。下り坂を走行するときは、デフロックを使用しないでください。
- ・ デフロックがかかっているかどうかに関係なく、このマニュアルに記載されているすべての安全な操作方法に従う必要があります。

注: システムは、トラクションが不十分な場合のみ使用してください。固体表面を移動するときは、外す必要があります。

場合によっては、トラクターが滑りやすい状況や牽引力の低い状況で運転され、デフロックを作動させる必要がある場合があります。デフロックを使用するには、次の手順に従います。

1. トラクターの動きを止めます。
2. デフロックペダルを踏むと、デフロックがかかります。


注: デフロックは、ペダルを踏んでいる間だけ機能します。

注: エンゲージメントが遅れる場合があります。異なるホイール速度が検出されると、デフロックが作動します。

注: 離脱が遅れる場合があります。デフロックは、後輪の速度によって解放されると解除されます。

3. デフロックを解除するには、ペダルを放します。

トラクターの清掃

 **警告**

トラクターが最近運転された場合、エンジン、マフラー周囲の金属表面は高温になり、皮膚に火傷を負う可能性があります。エンジンを少なくとも5分間冷まします。火傷をしないように注意してください。

トラクターは、使用するたびに、特定の条件下、つまり乾燥状態やマルチングの状況で清掃する必要があります。追加の清掃が必要になる場合があります。

サービスとメンテナンス

警告

あらゆる種類のメンテナンス/サービスを実行する前に、すべてのコントロールを解除し、エンジンを停止してください。すべての可動部品が完全に停止するまで待ちます。エンジンを冷まします。意図しない始動を防ぐために、スパークプラグワイヤーを外し、エンジンに対して接地します。操作中、または調整や修理を行うときは、常に保護メガネを着用してください。

下記のメンテナンススケジュールに従ってください。
このチャートは、サービスガイドラインのみを説明しています。

	毎回使用する前に	最初の5時間後	10時間ごと	25時間ごと	50時間ごと	100時間ごと	200時間ごと	保管する前に	
エンジンインテークスクリーンと冷却ファンのチェック/クリーニング#	✓							✓	
エキゾーストマニホールド、マフラーパイプ、マフラーシールドの点検/清掃#	✓							✓	
デッキの上面と下面、スピンドルカバーの下と周囲、ベルトエリアの確認/清掃#	✓							✓	
ヒューズ、配線およびワイヤーハーネス周辺のチェック/クリーニング#	✓							✓	
トランスミッション、アクスル、ファン周辺のチェック/クリーニング#	✓							✓	
エアフィルターに汚れ、緩み、損傷がないか確認してください	✓								
エンジンオイルレベルを確認する	✓								
バッテリー端子の清掃			✓					✓	
全ての潤滑ポイントにグリースを塗る			✓					✓	
エンジンインテークスクリーンの確認/必要に応じた清掃			✓					✓	
ブレードの確認。必要に応じて交換			✓					✓	
タイヤの空気圧の確認			✓					✓	
デッキの下側チェックと清掃	✓		✓						
安全インターロックシステムの確認			✓					✓	
芝刈り機のブレード停止時間の確認			✓					✓	
デッキホイールの検査と潤滑				✓				✓	
デッキレベルの確認				✓				✓	
ベルトとプーリーの損傷/摩耗の確認					✓				
すべてのハードウェアが所定の位置にあるか、安全であることの確認						✓			
エンジン取り付けボルトのトルクの確認 (325-450インチポンド (36.7-50.8 N-m) で締めます)		✓			✓			✓	
ブレードマウントナットのトルクの確認 (70~90フィートポンドに締めます) (94.9-122 N-m))		✓			✓			✓	
スパークプラグとギャップの確認						✓		✓	
エンジンブレークインオイル交換		✓							
エンジンオイルの交換					✓			✓	

*-このアイテムは販売店に依頼してください。

-乾燥した状態で、マルチングするときに、より頻繁に実行します。

	毎回使用する前に	最初の5時間後	10時間ごと	25時間ごと	50時間ごと	100時間ごと	200時間ごと	保管する前に	
燃料システム (ライン、タンク、キャップ、フィッティング) の確認		✓			✓			✓	
スパークアレスターの確認		✓			✓			✓	
オイルフィルターの交換					✓			✓	
エアフィルターの清掃または交換					✓				
燃料フィルターの交換					✓				
バルブラッシュのチェックと調整*									

*-このアイテムは販売店に依頼してください。

#-乾燥した状態で、マルチングするときに、より頻繁に実行します。

注：このオペレーターズマニュアルは、いくつかのモデルをカバーしています。トラクター機能はモデルによって異なる場合があります。このマニュアルのすべての機能がすべてのトラクターモデルに適用できるわけではなく、描かれているトラクターは実際のトラクターとは異なる場合があります。

使用後のトラクターケア

トラクターを操作するたびに、トラクターの寿命を延ばし、安全な操作条件を確保するために、次の手順を実行する必要があります。

警告

これらの推奨事項に従わない場合は、自分自身や他の人に重傷を負うこととトラクターに損傷を与える可能性があります。

デッキの下側の掃除

デッキウォッシュシステム (装備されている場合)

トラクターのデッキには、デッキ洗浄システムの一部として、その表面にノズルが装備されている場合があります。

デッキウォッシュシステムを使用して、デッキの下側から刈り取った草を洗い流し、腐食性物質の蓄積を防ぎます。各草刈りの後に次の手順を実行します。

- ワンタッチコネクタを水栓につながったガーデンホースに取り付けます。
- トラクターをホースの届く範囲且つ、洗い落とした草の分散が許される領域に移動します。PTOを解除し、パーキングブレーキをかけ、エンジンを停止します。
- ワンタッチコネクタ (b) のロックカラー (a) を引き戻し、ワンタッチコネクタをデッキウォッシュノズル (c) に押し込みます。ロックカラーを解放して、デッキウォッシュノズルのコネクタをロックします。図30

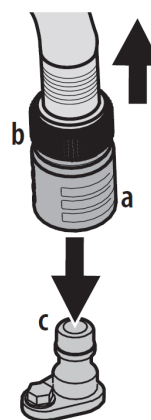


Figure 30

- 蛇口を開き給水を開始します。
- トラクターの運転席からエンジンを始動し、PTOを作動させます。必要に応じて実行できるようにします。PTOを解除し、エンジンを停止します。
- 給水を止めてください。
- ワンタッチコネクタのロックカラーを引き戻して、デッキウォッシュノズルから外します。

トラクターの清掃

警告

トラクターを運転した直後は、エンジン、マフラー周囲の金属表面は高温になり、皮膚に火傷を負う可能性があります。エンジンを少なくとも5分間冷まします。火傷をしないように注意してください。

トラクターは、使用するたびに清掃する必要があります。乾燥状態やマルチングの状況では、追加のクリーニングが必要になる場合があります。

トラクターを効率的に運転し続け、火災のリスクを減らすための最良の方法の1つは、トラクターから堆積した破片を定期的に取り除くことです。以下の推奨事項に従い、質問がある場合は認定販売店にお問い合わせください。

- ・ トラクターを掃除する前に、屋外の開けた場所で少なくとも5分間冷ましてください。

注： 高圧洗浄機またはガーデンホースの使用はできません。デッキの下側を掃除する以外にトラクターを掃除することを勧めません。電気部品、スピンドル、プーリー、ベアリング、またはエンジンに損傷を与える可能性があります。水を使用すると寿命が短くなり、保守性が低下します。

- ・ エキゾーストマニホールド、ヒューズ周辺、すべての配線とハーネス、マフラーパイプ、マフラーシールド、エンジンインテークスクリーン、冷却フィンなどのボンネットの下を清掃します。図31を参照

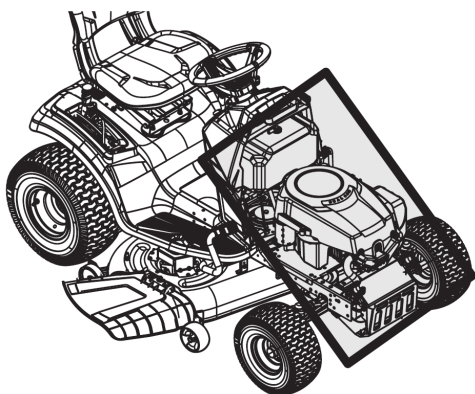


Figure 31

- ・ スピンドルカバーとベルト領域の下、トラクターデッキの上部を清掃します。図32を参照

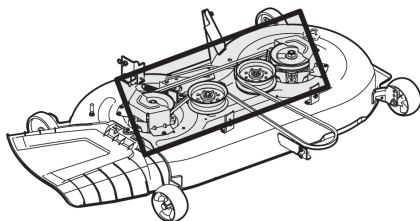


Figure 32

- ・ トランスミッション、アクスル、ファンエリアの周囲とその近くを清掃します。図33を参照

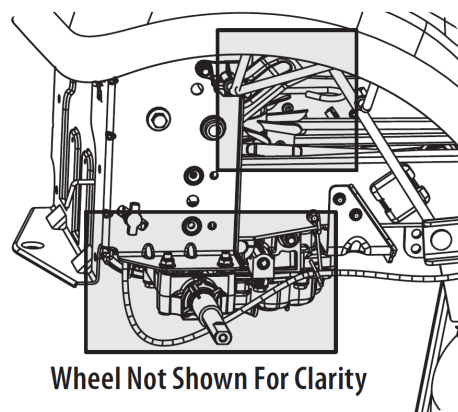


Figure 33

- ・ 破片はトラクターのどこにでも、特に水平面に蓄積する可能性があります。乾燥した状態で草刈りをするとき、またはマルチングするときは、追加の清掃が必要になる場合があります。
- ・ 燃料の漏れ/こぼれ、油の漏れ/こぼれ、および過剰な潤滑も、破片の収集場所になる可能性があります。油や燃料のこぼれをすぐに修理して掃除することで、火災の危険を減らすことができます。
- ・ 操作および保管の前にトラクターを掃除することに加えて、10インチ (25 cm) 以上の異常に高い草、乾いた草 (牧草地など)、または乾いた葉の山を刈ろうとしないでください。乾いた草や葉がエンジンの排気ガスに接触したり、トラクターのデッキに堆積したりして、火災の危険が生じる可能性があります。

トラクターの保管

- ・ 保管する前に、トラクターを屋外の開けた場所で少なくとも5分間冷ましてください。
- ・ トラクターを可燃性物質 (木材、布、化学薬品)、直火、またはその他の潜在的な発火源 (炉、給湯器、その他の種類のヒーター) の近くに駐車しないでください。
- ・ 保管する前に、トラクターからすべての可燃物を取り除きます。空のカーゴボックス、グラスキャッチャーまたはコンテナ。
- ・ トラクターに燃料シャットオフが装備されている場合は、保管または輸送するときは常に燃料の流れを遮断してください。
- ・ 燃料系統 (ライン、タンク、キャップ、フィッティング) にひびや漏れがないか頻繁にチェックしてください。必要に応じて修理および清掃してください。

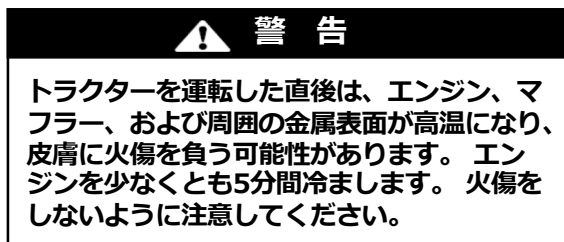
メンテナンス

エンジン

すべてのエンジンの問題と質問については、エンジンオペレーターズマニュアルを参照してください。

注：所有者の費用で行われている排出制御装置およびシステムの保守、修理、または交換は、エンジン修理施設または個人が行うことができます。保証修理は、認定ディーラーが行う必要があります。

エンジンオイルの交換



注：オイルフィルターは、オイル交換間隔ごとに交換する必要があります。

オイル交換を完了するには、次の手順に従います。

1. エンジンオイルを温めるために、エンジンを短時間運転します。オイルの流動性が高まり、より多くの不純物を排出します。高温の油による火傷を避けるように注意してください。
2. トラクターのフードを開き、エンジンの側面にあるオイルドレンポートを見つけます。
3. 使用済みオイルを収集するために、オイルドレンチューブの開口部の下に少なくとも2.5クォート (2.36 L) の容量の適切なオイル収集コンテナを置きます。オイルドレンチューブからオイルフィルキャップ/ディップスティックを取り外します。
4. オイルドレンバルブの端にある保護キャップを開いて、ドレンポートを露出させます。図34を参照

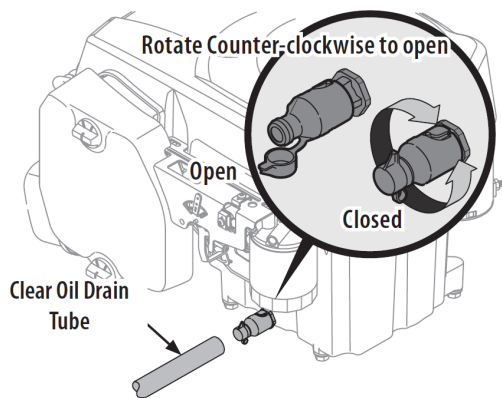


Figure 34

5. オイルドレンチューブ（このマニュアルに同梱）をオイルドレンポートに押し込みます。チューブの反対側の端を、使用済みオイルを収集するために少なくとも2.5クォート (2.36 L) の容量を持つ適切なオイル収集コンテナに配管します。
6. エンジンにはツイストアンドブールドレンポートが装備されています。オイルドレンバルブを反時計回りに1/4回転させてから、外側に引いて、オイルの排出を開始します。オイルの排出が終了したら、オイルドレンバルブの端を押し戻し、時計回りに1/4回転させてオイルドレンを閉じます。オイルドレンバルブの端に再度キャップを付けて、破片がドレンポートに入らないようにします。

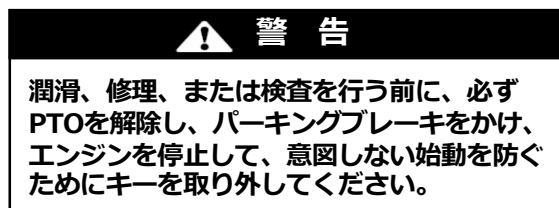
7. オイルフィルターを交換し、エンジンに新しいオイルを補充します。
8. オイルフィルキャップ/ディップスティックを再度取り付けます。

注：オイルフィルターの下に吸収性タオルを置き、エンジンブリーにオイルが入らないようにします。

注：環境を保護するために、ガス、石油などの適切な廃棄法および規制を遵守してください。

注：所有者の費用で行われている排出制御装置およびシステムの保守、修理、または交換は、エンジン修理施設または個人が行うことができます。保証修理は、認定ディーラーが行う必要があります。

潤滑



高品質の潤滑油を使用して、すべての潤滑ポイントに注油します。適切なサービス間隔については、このマニュアルにあるメンテナンススケジュールチャートを参照してください。

前輪の潤滑

前輪の車軸とリムにはそれぞれグリースニップルが装備されています。アクスルのグリースニップルの位置については図35を、リムのグリースニップルの位置については図36を参照してください。メンテナンススケジュールに従って、グリースガンを使用してNo.2の多目的グリースを塗布して潤滑します。

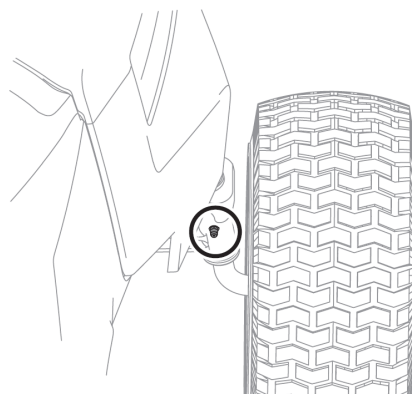


Figure 35

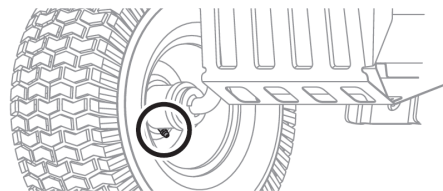


Figure 36

デッキホイールの潤滑

球形のデッキのホイール（50インチと54インチのデッキには4つあります）にはグリースニップルが装備されています。メンテナンススケジュールに従って、グリースガンを使用してNo.2の多目的グリースを塗布して潤滑します。

潤滑ピボットポイントとリンケージ

メンテナンススケジュールに従って、ドライブシステム、パークブレーキ、リフトリンケージのすべてのピボットポイントに注油します。

注：ステアリングピニオン/セクターギアインターフェースにグリースを塗る必要はありません。汚れがたまり、ステアリング性能に影響を与える可能性があります。

油圧トランスミッション

油圧トランスミッションは工場で密閉されており、メンテナンスフリーです。液面を確認したり、液を交換したりすることはできません。

スパークアレスタのメンテナンス（装備されている場合）

スパークアレスタアセンブリは、検査および清掃する必要があります。定期的に（このマニュアルのメンテナンススケジュールチャートを参照）。スクリーンに裂け目、断線、溶接の緩みがないか目視検査します。これらの条件のいずれかが存在する場合は、スパークアレスタアセンブリを交換してください。スクリーンの状態が良好な場合は、ほこりやカーボン粒子を払い落とし、スクリーンをきれいにします。

タイヤ

タイヤを推奨圧力まで膨らませたままにします。不適切な膨張はタイヤの耐用年数を短くします。適切な空気圧については、タイヤの側壁を参照してください。適切なサービス間隔については、このマニュアルにあるメンテナンススケジュールチャートを参照してください。

次のガイドラインに従ってください：

- タイヤのサイドウォールに示されている最大圧力を超えてタイヤを膨らませないでください。
- ランプラットタイヤまたは真剣に走行したタイヤを再膨張させないでください。膨張下にある。資格のあるタイヤ整備士に点検と修理を依頼してください。

オフシーズンの保管

トラクターを長期間（30日から約6か月）操作しない場合は、芝刈り機を保管する準備をしておく必要があります。芝刈り機は、乾燥した保護された場所に保管してください。屋外に保管する場合は、芝刈り機（タイヤを含む）を覆います。以下に概説する手順は、芝刈り機を保管するときに実行してください。

1. このマニュアルおよびこのトラクターに付属のエンジンオペレーターズマニュアルに記載されている指示に従って、エンジンオイルとフィルターを交換します。



警告

燃料を入れたトラクターを屋内のタンクや換気の悪い倉庫に保管しないでください。炉、給湯器、衣類乾燥機などのように、燃料の煙が直火、火花、または種火に達する可能性があります。

2. トラクターを30日以上保管する場合：
 - a. エンジンのキャブレター内に堆積物が形成されてエンジンの誤動作を引き起こすのを防ぐには、燃料システムを完全に空にするか、ガソリンを安定剤で処理して劣化を防ぐ必要があります。
 - b. 30～90日間の保管に燃料安定剤を使用する：
 - 製品メーカーの指示と推奨事項をお読みください。
 - クリーンでフレッシュなガソリンに、燃料システムの容量（約3ガロン）に適した量の安定剤を追加します。
 - 燃料タンクに処理済み燃料を充填し、エンジンを2～3分間運転して、安定した燃料をキャブレターに入れます。
 - 燃料タンクに残っている燃料は劣化し、深刻な始動問題を引き起こします。
 - c. 90日以上保管するために燃料システムを空にする：
 - トラクターを保管する前に、燃料タンクを空にしてください。
 - エンストが始まるまでエンジンを運転します。キャブレター内のすべての燃料が使い果たされるまで、チョークを使用してエンジンを運転し続けます。
 - エンジンオペレーターズマニュアルを参照して、キャブレターボウルから燃料を排出します。
3. エンジンとトラクター全体を徹底的に清掃します。

注：デッキの下側を掃除する以外にトラクターを掃除するために、高圧洗浄機またはガーデンホースを使用することはお勧めしません。電気部品、スピンドル、ブーリー、ベアリング、またはエンジンに損傷を与える可能性があります。水を使用すると寿命が短くなり、保守性が低下します。
4. バッテリーを完全に充電してから、バッテリーのマイナスケーブルを外して放電を防ぎます。保管中は定期的にバッテリーを充電してください。

注：氷点下の温度に長時間さらされた場合は、バッテリーを取り外してください。気温が氷点下を超える涼しく乾燥した場所に保管してください。
5. すべての注油ポイントに注油します。

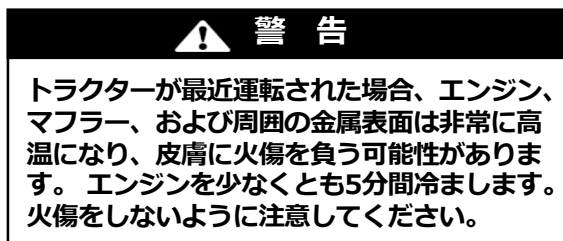
ストレージからのトラクターの取り外し 保管庫からトラクターを動かす

1. エンジンオイルを確認してください。
2. バッテリーを完全に充電し、タイヤを推奨圧力まで膨らませます。適切なタイヤ空気圧については、タイヤの側壁を参照してください。
3. 燃料タンクに清潔で新鮮なガソリンを入れます。
4. エンジンを始動し、数分間アイドル状態にして、エンジンが正しく動作していることを確認します。
5. 負荷をかけずにトラクターを運転して、すべてのトラクターシステムが正しく機能していることを確認します。

調整

デッキレベリング

カッティングデッキの草刈りが不均一に見える場合は、レベリング調整を行うことができます。



注：デッキレベリング調整を実行する前に、トラクターのタイヤ空気圧を確認してください。タイヤ空気圧に関する情報については、このセクションのタイヤを参照してください。

デッキのレベリング (サイドツースайд)

1. トラクターをしっかりとした水平な面に駐車した状態で、デッキリフトレバーを中央の位置に置き、両方のブレードをトラクターと垂直になるように回転させます。
2. 左刃先の外側から地面までの距離と、右刃先の外側から地面までの距離を測定します。行われる両方の測定値は等しくなければなりません。そうでない場合は、次の手順に進みます。
3. ホイール内のリアフェンダーの下には、デッキの両側にリフト調整ロッドがあります。図37を参照

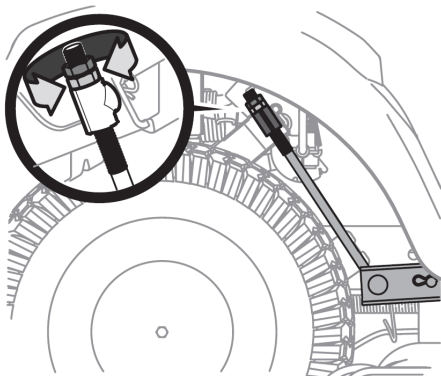


Figure 37

4. 左右の微調整は、主に左側の調整ロッドを使用して行う必要があります。
5. デッキの左側を持ち上げるには、リフトロッドの端にある上部ナットを緩めてから、下部ナットを時計回りに回します。適切に調整されたら、上部ナットを締めて所定の位置に固定します。デッキの左側を下げるには、リフトロッドの端にある上部ナットを緩め、下部ナットを反時計回りに回します。適切な調整が完了したら、上部ナットを25-30 ft-lbs (33.9-40.7 N-m) で締めて、所定の位置に固定します。
6. 以前に行った両方のブレード先端の測定値が等しい場合、デッキは適切に水平になります。

デッキのレベリング (ピッチ/前後)

デッキの前面はスタビライザーバーで支えられており、スタビライザーバーを調整してデッキを前面から背面に水平にすることができます。デッキの前面は、デッキの後部より1/4" -3/8" (6.35 mm-9.5 mm) 低くする必要があります。必要に応じて、次のように調整します。

1. トラクターをしっかりとした平らな面に駐車し、デッキリフトレバーを中央の位置に置き、排出シュートに最も近いブレードをトラクターと平行になるように回転させます。
2. ブレード先端の前面から地面まで、およびブレード先端の後面から地面までの距離を測定します。デッキの前面は、デッキの背面より1/4" ~3/8" (6.35 mm~9.5 mm) 小さくする必要があります。
3. 必要に応じて、適切に調整するために必要なおおよその距離を決定して進みます。
4. デッキの前面を持ち上げるには、外側のナットを緩めてから、内側のナットをフロントハンガーブラケットに締めます (内側にねじ込みます)。図38を参照してください。適切に調整されたら、外側のナットを25-30 ft-lbs (34 mm-40.7 N-m) で締め直します。

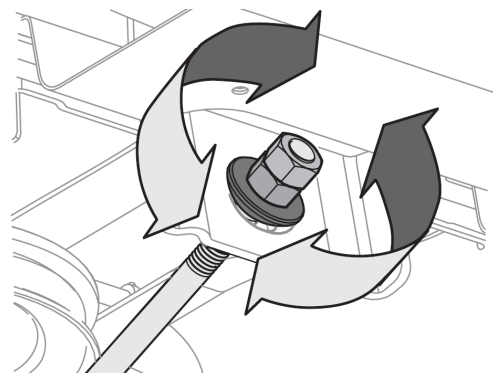


Figure 38

5. デッキの前面を下げるには、外側のナットを緩めてから、内側のナットを緩め (外側にねじ込み)、フロントハンガーブラケットから離します。図38を参照してください。適切に調整されたら、外側のナットを締め直します。

デッキホイールの調整



警告

カッティングデッキの排出口から手足を離してください。

注：デッキホイールはデッキの頭皮防止機能であり、デッキの重量を支えるようには設計されていません。

デッキが希望の高さに設定されている場合、デッキホイールは地面から約1/4 "-1/2" (6.35 mm-12.7 mm) 上にある必要があります。デッキホイールを調整するには、手順について「アセンブリ」セクションを参照してください。

サービス 点検

電気システム

過度のアンペアによる損傷からトラクターの電気システムを保護するために、ヒューズが取り付けられています。交換には常に同じ容量のヒューズを使用してください。電気システムが機能しない場合は、ヒューズが飛んでいないか確認してください。

ヒューズの熔断で繰り返し問題が発生する場合は、トラクターの電気システムを認定サービスディーラーに確認してもらってください。

リレーとスイッチ

電気システムにはいくつかの安全スイッチがあります。前述の安全インターロックシステムの機能が正しく機能しない場合は、認定サービスディーラーに電気システムの点検を依頼してください。

パーキングブレーキの調整

ブレーキペダルを完全に踏み込んだときにトラクターが完全に停止しない場合、またはパーキングブレーキをかけた状態（および静水圧リリーフバルブが開いた状態）でトラクターの後輪が回転できる場合は、ブレーキを調整する必要があります。ブレーキの調整については、認定サービスディーラーにお問い合わせてください。

静水圧ニュートラル調整

前進ペダルも後進ペダルも踏まれていないときにトラクターが前後にクリープする場合は、最寄りの正規販売店に連絡して、ニュートラル設定を適切に調整してもらいます。

ホイールアライメント

トラクターが片側に引っ張られたり、位置がずれている場合は、ホイールの位置合わせが必要になることがあります。ホイールを適切に位置合わせするには、認定サービスディーラーに連絡してください。

デッキの取り外し

トラクターが片側に引っ張られたり、位置がずれている場合は、ホイールの位置合わせが必要になることがあります。ホイールを適切に位置合わせするには、認定サービスディーラーに連絡してください。



警告

PTOプーリーからベルトを転がすときに指を挟まないように注意してください。

デッキを取り外すには、次の手順に従います：

1. トラクターを水平面に移動し、PTOを解除し、エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけます。

2. デッキリフトレバーを右フェンダーの一番下のノッチに動かして、デッキを下げます。
3. 手動PTOを備えたトラクターの場合は、ステップ4に進みます。電気PTOモデルの場合は、ステップ8に進みます。
4. 右側のアイドルプーリーのフランジロックナットと左側のアイドルプーリーの六角ネジを緩めますが、取り外さないでください。
5. エンジンプーリーキーパーロッドをフレームに固定している六角ネジを外します。図39を参照

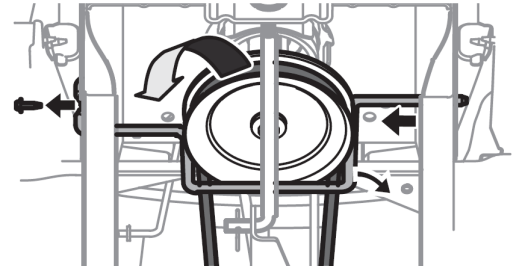


Figure 39

6. ロッドを右にスライドさせて取り外します。
注：ロッドを取り外すときは、ワイヤーハーネスを損傷しないように注意してください。
7. PTOケーブルをデッキのブラケットに固定している蝶ネクタイクリップを取り外し、PTOケーブルをブラケットから引き出し、スプリングをアイドルブラケットから外します。図40を参照してください。

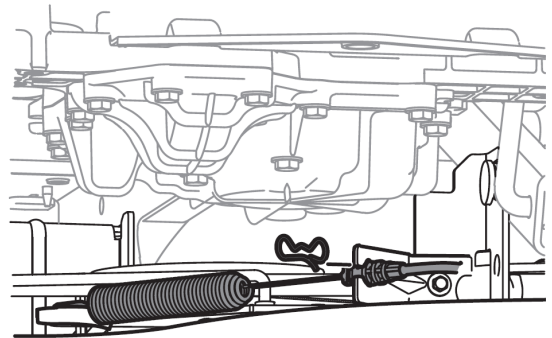


Figure 40

8. トラクターの右側で作業し、アイドルブラケットにある四角い穴に、締めるように設定された38インチのドライブブラケットレンチを挿入します。図41を参照してください。
9. レンチを前方に回転させて、デッキドライブプーリーを前方に動かします。図41を参照してください。

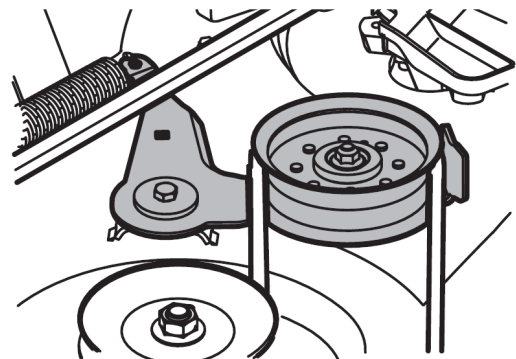


Figure 41

10. PTOブリーの周りからベルトを慎重に取り外します。
11. トラクターの左側からデッキを見て、デッキの後部左側にある蝶ネクタイピンを見つけます。図42を参照してください。
12. ピンを取り外し、デッキピンをデッキリフトアームから引き出します。図42を参照してください。

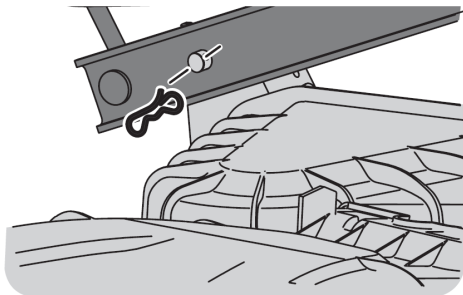


Figure 42

13. トラクターの右側で手順11~12を繰り返します。
14. 蝶ネクタイピンをフロントデッキリフトロッドから引き出して、デッキに固定します。図43を参照してください。デッキリフトロッドをフロントハンガーブラケットから引き出します。

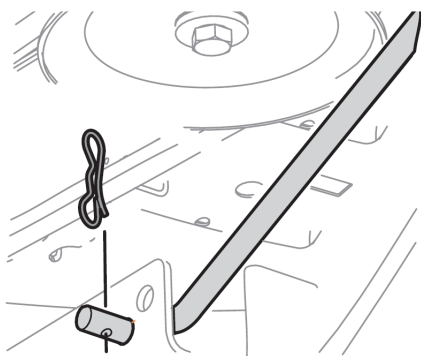


Figure 43

16. トラクターの下からデッキをそっと引き出します。

ブレードの取り外し

警告

研ぎまたは交換のためにカuttingブレードを取り外す前に、エンジンを停止し、イグニッションキーを取り外してください。刃をつかむときは、重い手袋を使用して手を保護してください。

特に異物をぶつけた後は、ブレードやスピンドルにひびや損傷がないか定期的に点検してください。損傷したコンポーネントを交換するまで、トラクターを操作しないでください。

ブレードの刃先が以前に鋭利になっている場合、または金属の分離が存在する場合は、ブレードを新しいものと交換します。

FASTATTACH™ブレードシステム (装備されている場合)

1. トラクターデッキの高さを最も高い位置に設定します。
2. ブレードの側面にあるブレードカラーの指の溝を注意深く感じてください。
3. ブレードカラーを上へ押しつけて保持します。図44を参照してください。

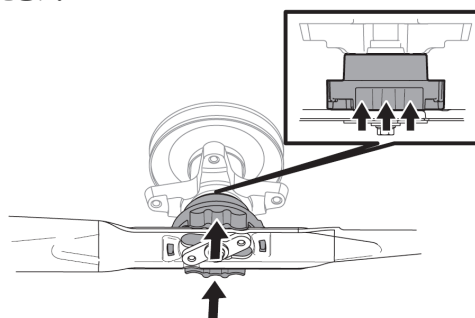


Figure 44

4. カラーを上向きにしたまま、ブレードを反時計回りに回転させてカラーから外します。図45を参照してください。

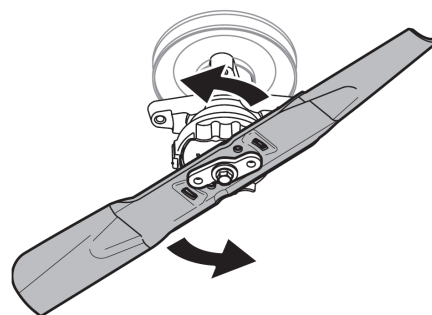


Figure 45

5. ブレード中央の穴がトラクターブレードリテーナーと揃うようになったら、ブレードを慎重に下げます。図46を参照してください。

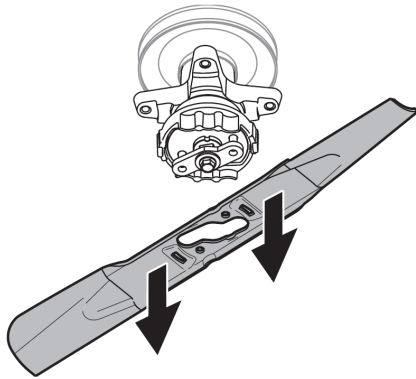


Figure 46

標準ブレードシステム (装備されている場合)

1. トラクターの下からデッキを取り外し (このセクションで前述したデッキの取り外しを参照)、デッキをそっと裏返して下側を露出させます。
2. スタビライザーとして機能するように、デッキハウジングバッフルとカッティングブレードの間に木のブロックを置きます。図47を参照してください。

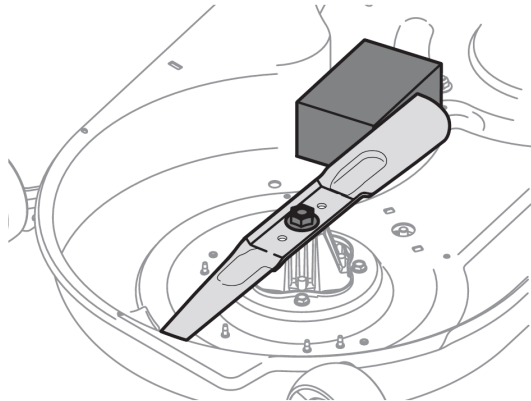


Figure 47

3. ブレードをスピンドルアセンブリに固定している六角フランジナットを取り外します。

ブレードの取り付け

FASTATTACH™ブレードシステム (装備されている場合)

1. トラクターデッキの高さを最も高い位置に設定します。
2. ブレードを適切に向けます。ブレードの下部には「グラスサイド」というラベルが付いています。
3. ブレードをスピンドルアセンブリの下に配置し、ブレードの中央にある大きな開口部をトラクターのブレードリテーナーの上に注意深く合わせます。図48を参照

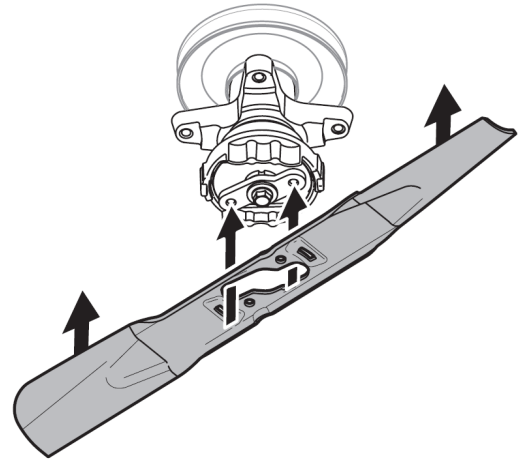


Figure 48

4. 上のカラーが上がるまで、ブレードをブレードアダプターに対して上向きに押します。図44を参照してください。
5. ブレードを時計回りに回転させて、ブレードアダプターに合わせます。図49を参照してください。

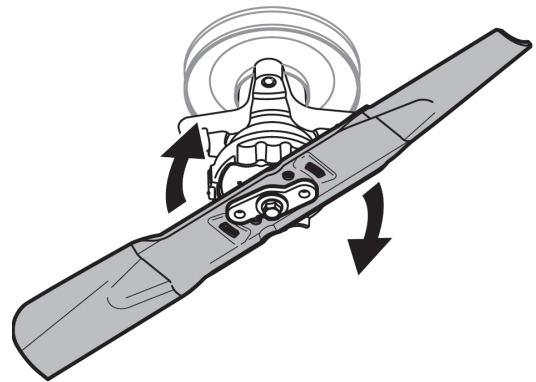


Figure 49

注: ブレードを回しているときに抵抗が大きすぎると、スピンドルが回転し、ブレードがブレードアダプターに正しく位置合わせされておらず、取り付けが成功しません。

6. ブレードが適切にロックされると、カチッという音が聞こえます。図50を参照してください。

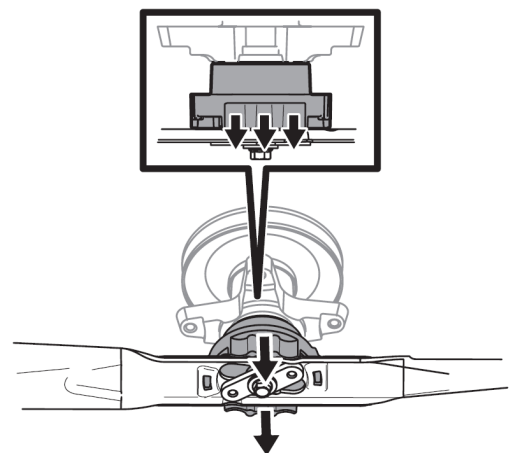


Figure 50

標準ブレードシステム (装備されている場合)

1. デッキを取り外した状態で、デッキをそっと裏返し、下側を露出させます。
2. ブレードの中央にある穴をスピンドルアセンブリの下部にあるS字型のリテーナに合わせ、ブレードを所定の位置にスライドさせます。
3. スタビライザーとして機能するように、デッキハウジングパッフルとカッティングブレードの間に木のブロックを置きます。図47を参照してください。
4. ブレードをスピンドルアセンブリに固定するために、六角フランジナットをねじ込みます。
5. トルクレンチを使用して、ブレードスピンドルの六角フランジナットを70-90 ft-lbs (94.9-122 N-m) で締めます。

注: ブレードを交換または再取り付けするときは、必ず「下部」とマークされたブレードの側面 (または部品番号が刻印されている) を地面に向けて取り付けてください。

ブレードを研ぎます

1. カッティングブレードを適切に研ぐには、ブレードの両端から、後縁に平行に、25°から30°の角度でカッティングエッジに沿って等量の金属を取り除きます。適切な刃のバランスを維持するために、常に各刃先を均等に研磨してください。図51を参照してください。

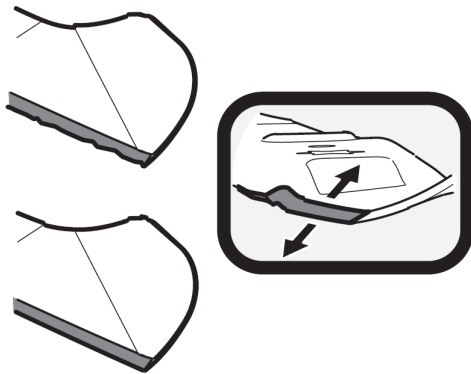


Figure 51

2. ブレードバランサーを使用してブレードのバランスをテストします。金属を重い側から均等にバランスがとれるまで粉碎します。

警告

ブレードのバランスが悪いと、過度の振動が発生したり、トラクターが損傷したり、怪我をしたりする可能性があります。

デッキベルトの交換とデッキの再取り付け

警告

トラクターにあるVベルトは、安全に着脱できるように特別に設計されています。代替 (非OEM) Vベルトは、完全に外れないと危険な場合があります。トラクターが適切に機能するためには、工場で承認されたベルトを使用してください。

トラクターのすべてのベルトは摩耗する可能性があるため、摩耗の兆候が見られる場合は交換する必要があります。トラクターのデッキベルトを交換または交換するには、次の手順に従います。

1. このセクションの前半の「デッキの取り外し」の指示に従って、デッキを取り外します。
2. 左右のアイドラープーリーのハードウェアを緩めますが、取り外さないでください。

注: 一部のデッキでは、新しいベルトを取り外したり取り付けたりするために、スピンドルカバーを取り外す必要がある場合があります。スピンドルカバーを取り外すには、それらをデッキに固定しているネジを取り外します。

3. アイドラープーリーとスピンドルプーリーの周りからベルトを慎重に取り外します。
4. 下の該当する図に示すように、新しいベルトを配線します。42インチのデッキについては図52参照。

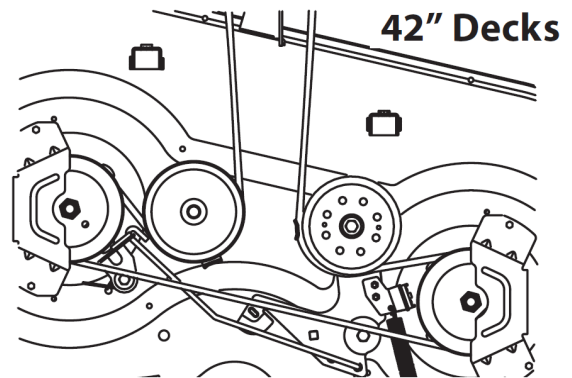


Figure 52

注：新しいベルトをつけてドライブプリーを回転させるときは、前の手順で説明したように、38インチのドライブブラケットレンチを使用します。。

5. ベルトがアイドルプリーに沿ってベルトキーパーの内側に正しく配置されていることを確認し、以前に緩めた場合はアイドルプリーを締め直します。256~313インチポンド (28.9~35.4 N-m) のトルクで締めます。
6. 以前に取り外した場合は、スピンドルカバーを再度取り付けます。
7. 指示に従ってベルトがプリーの周りに配置されたままであることを確認して、デッキを再取り付けします。
8. 手動PTOユニットでは、エンジンプリーキーパーロッドとPTOケーブルを再度取り付けます。
9. ベルトの右側を引っ張って、ベルトの狭い「V」側をPTOプリーに配置します。図55参照。

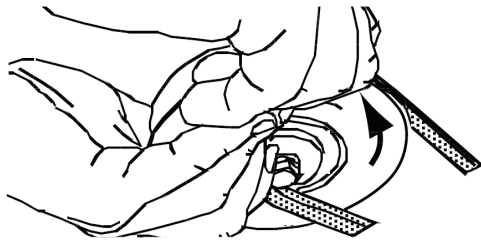


Figure 55

10. ベルトとプリーを一緒に保持しながら、プリーを左に回転させます。ベルトがPTOプリーに完全に巻き込まれるまで、プリーとベルトを保持して回転させ続けます。

ブラシガードの取り外し

警告

排気系とその周辺地域は悪くなります。怪我をしないように、ブラシガードの取り付けまたは取り外し手順を開始する前に、トラクターを冷ましてください。

1. 2つの割りピンを取り外してから、ピンを引きます。図56参照。

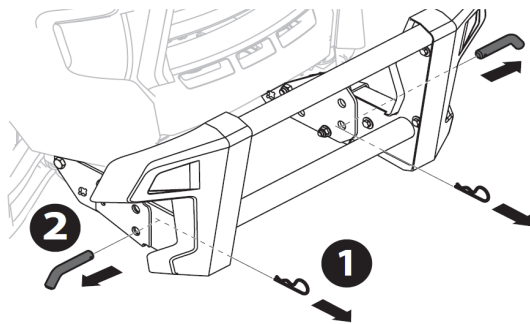


Figure 56

2. これで、ブラシガードアセンブリを取り外すことができます。図57参照。

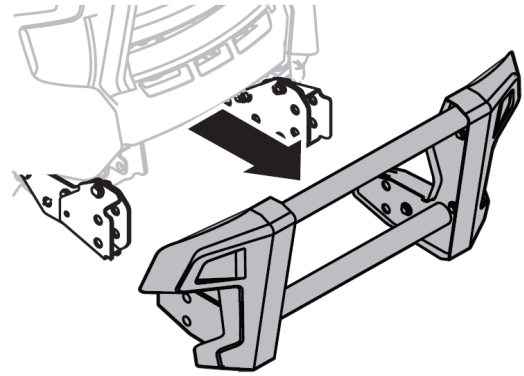


Figure 57

注：FastAttach™ブラケットは、他のFastAttach™アタッチメントで使用するためにそのままにしておくことができます ¥

トランスミッションドライブベルトの交換

トラクターのトランスミッションドライブベルトを交換するには、いくつかのコンポーネントを取り外し、特別な工具を使用する必要があります。トランスミッションドライブベルトの交換については、販売店にお問い合わせください。

⚠ 警告

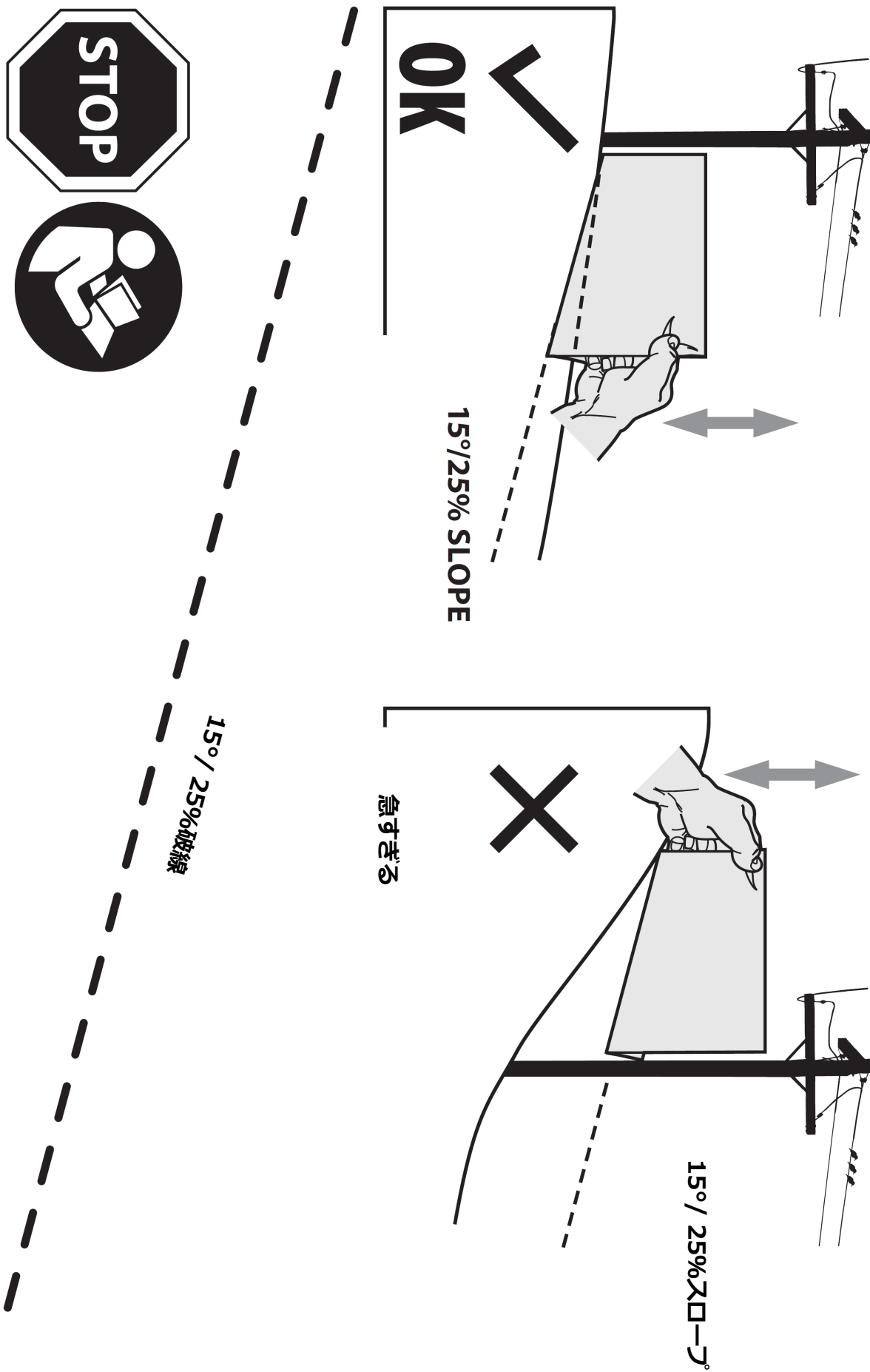
あらゆる種類のメンテナンス/サービスを実行する前に、すべてのコントロールを解除し、エンジンを停止してください。すべての可動部品が完全に停止するまで待ちます。意図しない始動を防ぐために、スパークプラグワイヤーを外し、エンジンに対して接地します。操作中、または調整や修理を行うときは、常に保護メガネを着用してください。

このセクションでは、マイナーなサービスの問題について説明します。最寄りの認定サービスセンターを見つけるには、連絡先情報について別の補足シートを参照してください。

トラブルシューティング

問題	原因	解決策
エンジンが 始動しない	1. PTO が入っています。	1. PTOをOFFにしてください。
	2. パーキングブレーキがかかっている。	2. パーキングブレーキをかけます。
	3. スパークプラグワイヤーが外れています。	3. ワイヤーをスパークプラグに接続します。
	4. スロットルレバーが正しい開始位置にない。	4. スロットルレバーをFASTの位置にします。
	5. 燃料タンクが空、または古い燃料。	5. タンクに清潔で新鮮な（30日未満）ガソリンを充填します。
	6. 燃料ラインが詰まっている。	燃料ラインを交換してください。燃料フィルターを交換してください。「サービスとメンテナンス」セクションを参照してください。
	7. スパークプラグの故障。	7. 清掃、ギャップの調整、またはプラグの交換。
	8. ヒューズが飛んでいます。	8. ヒューズを交換してください。
エンジンが 不規則に 作動する	1. チョークを作動させた状態で走行している。	1. チョークをOFFにします。
	2. スパークプラグのワイヤーが緩んでいる。	2. スパークプラグワイヤーを接続して締めます。
	3. 燃料ラインが詰まっている、または燃料が古くなっている。	3. タンクに清潔で新鮮なガソリンを充填し、燃料フィルターを交換します。
	4. 燃料タンクキャップの通気口が詰まっている。	4. キャップの通気口を掃除します。損傷している場合はキャップを交換します。
	5. 燃料系統の水または汚れ。	5. 燃料タンクを空にし、清潔で新鮮なガソリンを補充します。
	6. エアクリーナーが汚れている。	6. エアクリーナーを清掃または交換します。
エンジンが 過熱する	1. エンジンオイルレベルが低い。	1. エンジンに適切な量のオイルを充填します。
	2. 空気の流れが制限されています。	2. エンジンの冷却フィンとハウジングの周りから草の切り抜きや破片を取り除きます。
エンジンが高いRPMで騒音します	1. スパークプラグのギャップセットが近すぎます。	1. スパークプラグを取り外し、ギャップを調整します。
エンジンのアイドル状態が悪い	1. スパークプラグが汚れている。	1. スパークプラグを交換し、ギャップを調整します。
	2. エアクリーナーが汚れている。	2. エアクリーナーエレメントを清掃または交換します。
過度の振動	1. カuttingブレードが緩んでいるか、バランスが取れていません。	1. ブレードとスピンドルを締めます。ブレードのバランスを取ります。
	2. Cuttingブレードの損傷、くすみ、曲がり。	2. ブレードを交換してください。
草をうまく刈ることができない。	1. エンジン回転数が低すぎます。	1. スロットルコントロールをFASTの位置に置きます。
	2. 濡れた草を刈っている。	2. 草が濡れているときは刈らないでください。
	3. 高い草を刈っている。	3. 刈り高を高くし一度刈取り、徐々に低くして希望の高さになるように刈ります。
	4. ブレードが切れなくなっている。	4. ブレードを研ぐか交換してください。
不均一なカット	1. デッキが適切に水平になっていない。	1. デッキの左右を調整します。
	2. ブレードが切れなくなっている。	2. ブレードを研ぐか交換してください。
	3. 不均一なタイヤの空気圧。	3. 4本すべてのタイヤの空気圧を確認します。

スロープゲージ/傾斜計/スロープインジケータ





MTD 限定保証書

株式会社エープラス（以下a+）は、MTD LLC の品質保証に基づき、下記の通りの限定保証をいたします。

■ 保証内容

本製品の純正部品に材料または製造上における欠陥が見つかった場合、無償で修理または交換いたします。
この限定的な保証は、付属の取扱説明書に従った本製品のご使用・点検を行った場合にのみ対象となり、誤使用、悪用、商業的使用、不注意、事故、不正な点検、改造、破壊行為、窃盗、火事、水害、または他の危難や天災による損害などが原因でない場合に限り適用します。
取扱説明書に記載してある本製品のための仕様であっても、a+が承認していない付属品や部品を取り付けたり使用したりした場合は、それによって本製品に損傷が生じても保証対象外となりますのでご注意ください。

■ 保証期間

購入日から**1年間**

但し、本製品の消耗品(正規品に限る) については以下、別条件となります。
正規の消耗品の故障についてはその原因に関係なく**90日間**は保証の対象とします。**90日を過ぎて1年以内**は、他の部品の材料または製造上の不具合により消耗部品に故障が発生した場合にのみ、その消耗部品を保証の対象とします。正規の消耗品には、電池、ベルト、刃、刃アダプター、芝袋、乗用デッキ、ホイール、座席、雪放器、スキッドシュー、雪割板、オーガ、らせんゴム、タイヤなどを含まれますが、これらに限定されるものではありません。

■ 保証サービスの受け方

保証サービスを受けるには、ご購入時のオーナー登録が必要となります。同封の**登録用はがき**でオーナー登録をお願いします。
また、保証サービスを受けるには、購入された販売店までご連絡をお願いいたします。

■ 保証を適用しない事項

以下の場合には保証は適用されませんのでご注意ください。

- 潤滑油、フィルター、刃の研磨、エンジン調整、ブレーキ調整、クラッチ調整、および使用や時間の経過に伴う一般的な外装の劣化などの日常メンテナンス項目。
- 並行輸入などMTD日本正規輸入元のa+が公認した販売店以外で購入された製品。
- 純正部品および指定する油脂類以外の使用。
- 購入された販売店または弊社の指定する販売店以外での修理費用。
- 輸送費用や点検時の派遣費用。
- オーナー登録が済んでいない製品。
- 弊社が認めていない修理・改造・部品・付属品の装着。

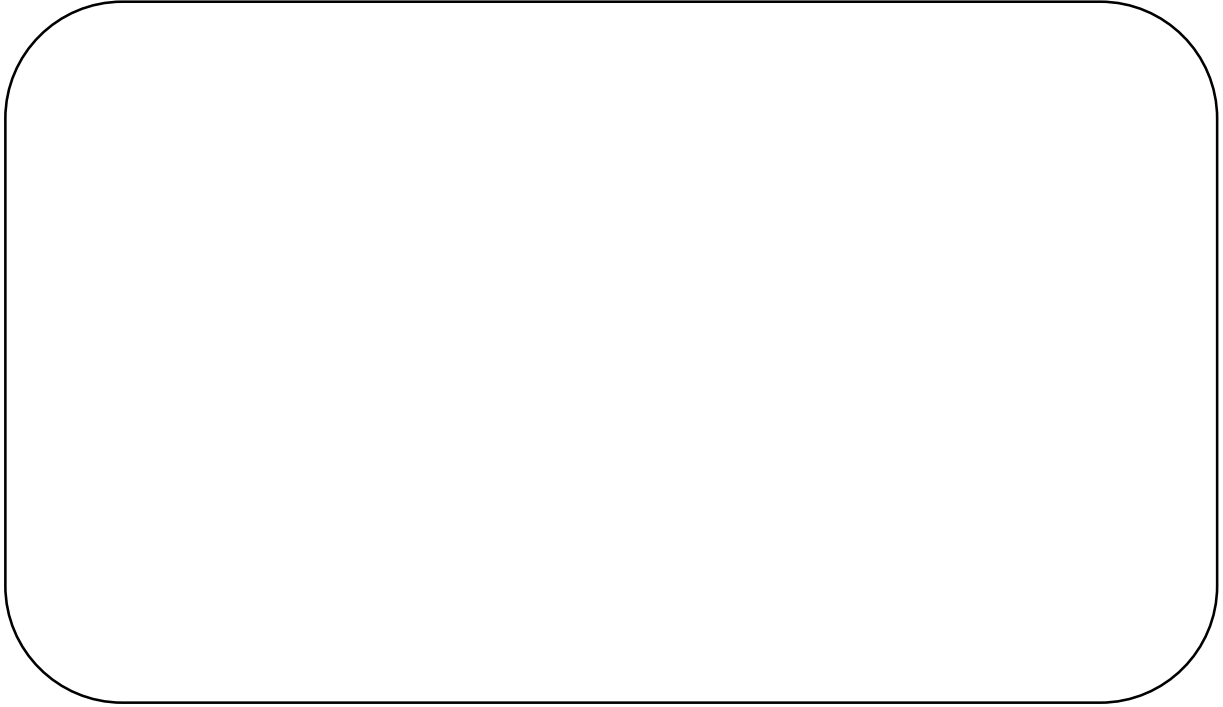
■ その他

- 製品に関して書面または口頭にて、取扱店または販売店を含めたいかなる人、あるいは団体が他の明示的な保証を約束したとしても、a+は上記の保証以外には責任を持ちません。
- 本保証書に記載した事項は、ご購入いただいた製品にのみ適用されます。
- 代替えまたは一時的な業務委託により生じた費用あるいは、保証対象製品の一般的なレンタル費用を含めて、二次的あるいは結果的な損失または損害に対して、a+は責任を負わないものとします。
- いかなる場合にも、保証総額が販売した製品の購入金額を超えないとします。
- 本製品の誤使用や使用能力欠如から生じるお客様自身あるいはお客様の財産、または他人や他人の財産に対する損失・損害に関しては、お客様自身が危険と責任を負うこととなります。
- この限定保証書は、当初のオーナー登録者以外の人、あるいはオーナー登録者から贈り物として受け取った人には適用されません。

a+ 株式会社 エープラス

〒396-0217 長野県伊那市高遠町上山田 86
Phone.0265-94-6121 Fax. 0265-94-5138

— ご購入店・お問い合わせ先 —



— MTD 日本正規輸入元 — **a⁺** 株式会社 エー・プラス
〒396-0217 長野県伊那市高遠町上山田86 Phone.0265-94-6121